作画 零覇 Reiha
原作 kt60
チートスキル『支配』を使って異世界ハーレム！
2
RK COMICS
comic RaKUU
ぶんか社

作画 零覇
原作 kt60
チートスキル
『支配』を使って
異世界
ハーレム!
2

REIHA / kt60 PRESENTS
PUBLISHED BY BUNKASHA

チートスキル
『支配』を使って
異世界
ハーレム!
2

ドラゴンさん…なのですか
ハーフ…ドラゴニュートだ
【第9話】

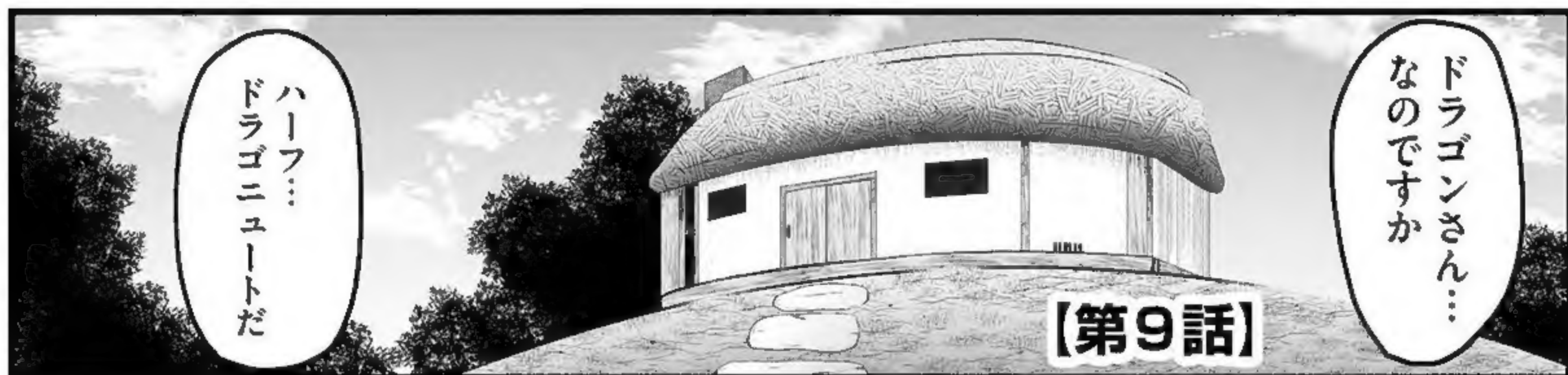
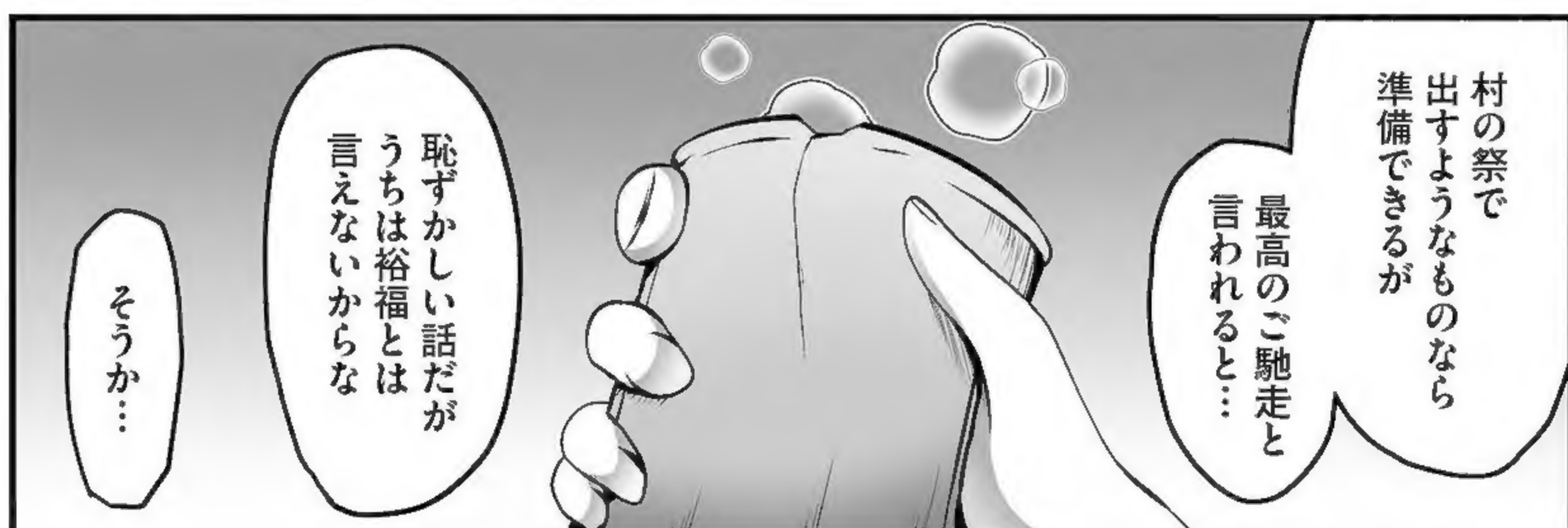
ん～竜と人の混じったいい匂いじゃの～
わ～…かたい…です
あまり強く触るな…

友達ができて本当によかったな…ミティも気に入ってるようだし
妹とも友達になってくれるといいのだが…

そうだな
ところでひとついいかラティ

お茶とかも…お庭で育てて…ますできる範囲の自給自足…！

うむ…騎士の身だが収入が多いわけでもなくてな

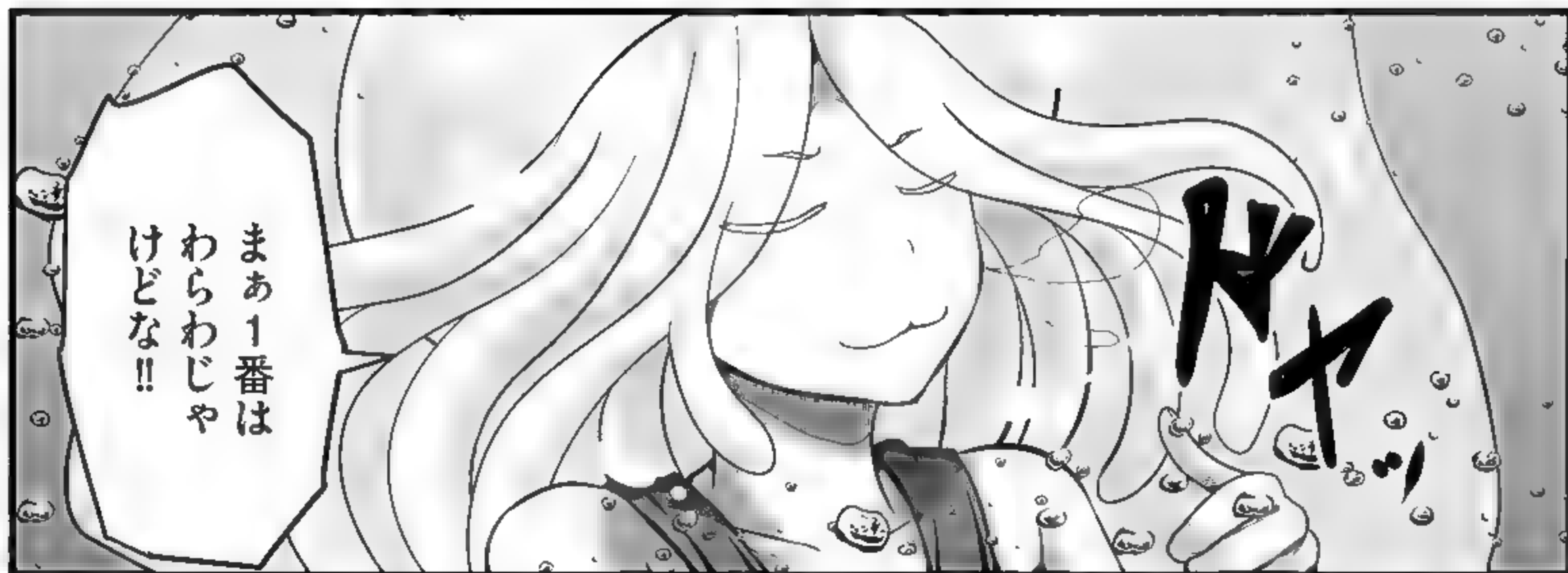
うーん…長生きしてるおまえは何か知らないか？

まったく仕方ないのぉ！この大海を統べる美少女のわらわが手を貸してやろうではないか‼

言っておくがクラゲはご馳走じゃないぞ？

誰が出すか！そんなもの‼かわいい美少女たちのためにわらわが最高の馳走を用意してくれようぞ‼

ザアアアアア…
よーし この辺りでよいぞ 我がペットよ！
ではここから 100m潜るぞ！
海岸から2km地点
そんなに深くか？ 水圧と呼吸…水中移動を同時にやるのは俺の力でも難しいかもしれんぞ
たわけ そんなことわらわに任せておれ
できるのか？
当然じゃ！ では行くぞ!!
ドパチン！
パプン
これは…空気の泡か⁉ 水圧も感じない…
すごかろ？ ヌシ様は水中移動だけに力を使うとよいぞ
わらわはすべて同時にできるがの

意外にやるな
ジェリー…
高位の精霊は
自称じゃなかったか
だいぶ深く潜ったな
あいつは…クジラか？
角ついてるけど
水の中で見ると
きれいだな…
ジェリーも

ほれ見えたぞ
アイツじゃ
あの噴煙の
脇にいるじゃろ
脇って…
あの岩あたりか？
ドン
っ…岩じゃない！
デカい…タコか⁉
深海火山の異名をもつ
この海域のNo．2じゃ
怒らせると火山の噴火に近い
災害が引き起こされるぞ

まぁ１番は
わらわじゃ
けどな!!
ドヤッ
然り…
かつてはこの海域の王であった
我は…偉大なる大精霊
ジェリー様に敗れた…
ふーん…で？
このタコがうまいのか？
煮てよし！
焼いてよし！
刺身は絶品じゃぞ!!

人間ごときが…我を食らおうというのか……！

ゴォォォォ

愚か者が…身の程を知れ……！

この男わらわの5倍くらい強かったぞ？

あ…左様で…お好きなだけお召し上がりください……

世界一かわいい美少女じゃとか…
海底の美しい景色を見せてくれて
まるで海の女神のようじゃ! とか!!

ついでにこれも
しまっておいてくれ

しまっておいてやるが!!
わらわは褒められて
伸びる子なんじゃぞ!!
もっと称賛せんか!!

あー…
そういうことか
な…なんじゃ⁉
ぎゅっ…
またわらわを
犯す気か⁉
海の中のジェリーを
見たとき…
きれいだと思った
ドキッ
ほぁ…⁉
ラティたちと違う
魅力がおまえには
あるんだなって
そ…そんなこと言うても
今までの所業は消えぬぞ…
もじ もじ
心からの本心だ
かわいいぞジェリー
〜〜〜〜〜！

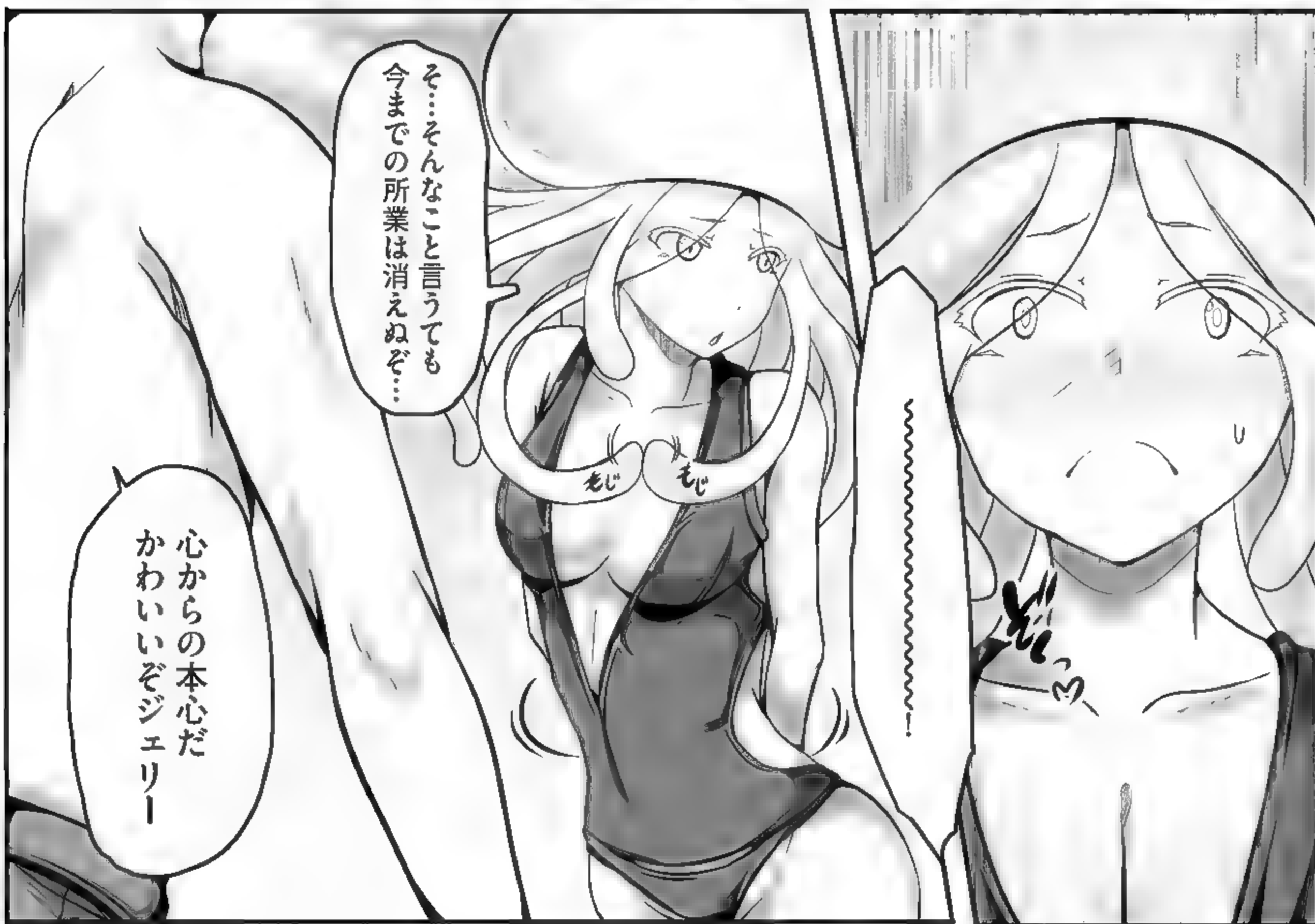
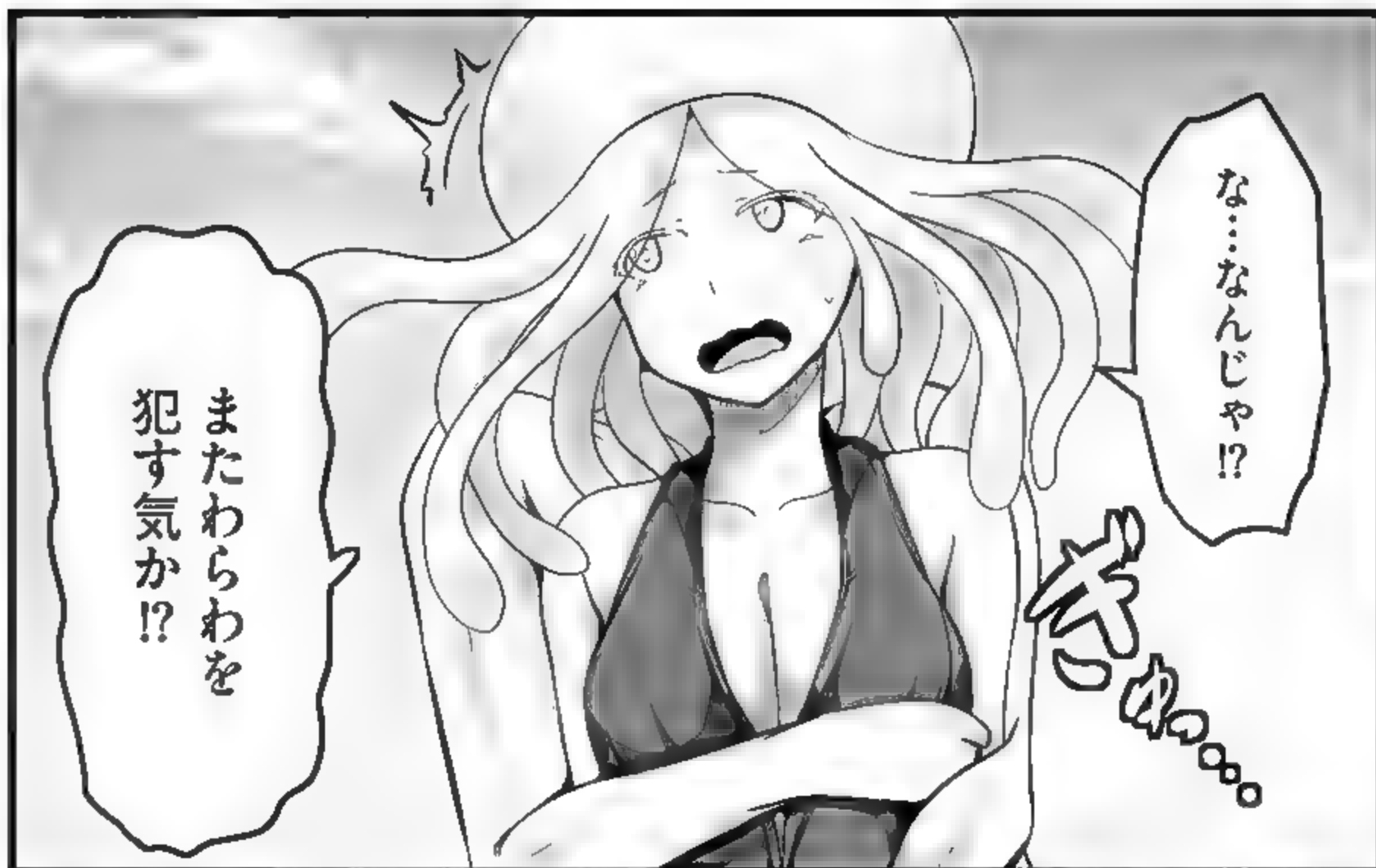
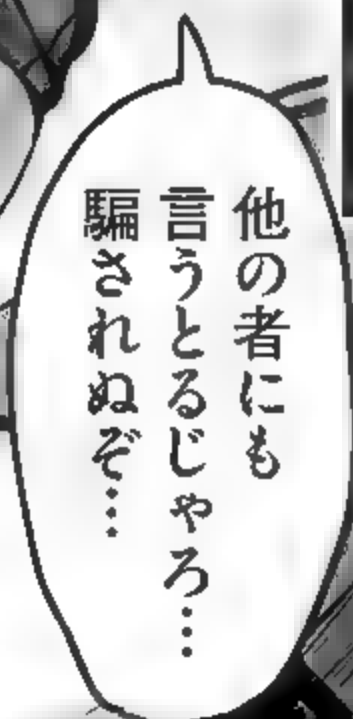
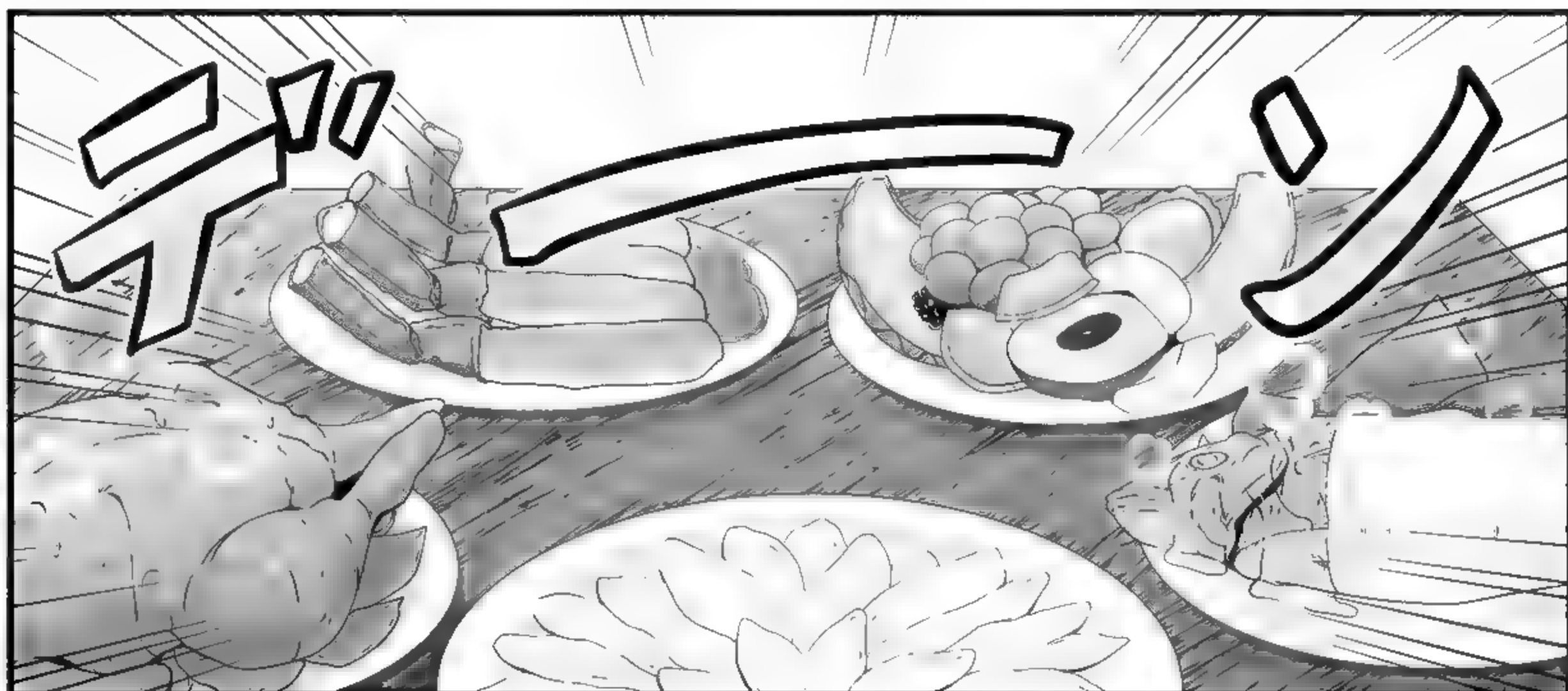
そ…そんなこと…
他の者にも言うとるじゃろ…騙されぬぞ…
じわっ♡
ジェリー
クイ
あ…
ちゅ…♡
ん…っ♡
んん…っ♡
そ…そのように優しく抱くでない…恋人の…ようじゃ…♡
ヌシ様のこと…好きになってしまう…♡
あっ♡
イクぞ…中でいいかジェリー
あっ♡
ドビュ〜〜〜ッ♡
う…よいぞ…♡中にだして…ヌシ様…っ♡

料理お疲れ様
ミティ

見たことない
モノばかりだ

よくこれだけ
揃えたな

本をみて…
がんばりました！

海中でちょこちょこ
取っておいたのじゃ！

その…もしかして
もてなしたいとは 私たち…
だったりするのか？
材料全て
使ったようだし…
本当は別のやつだが
今日は予行のつもりだ
皆にも食べさせて
あげたかったしな
そうか…
すまないな
いくらでも
また取りに行けば
よかろう!!
では!!
手を合わせてください!!
いただきます!!
あねさま…これ
すごくおいしい…!
あぁうまいな!
腕を上げたなミティ
ソーン ドレイク
おまえたちも食べろよ
え…と…
私たちもか…？
んぐんぐ

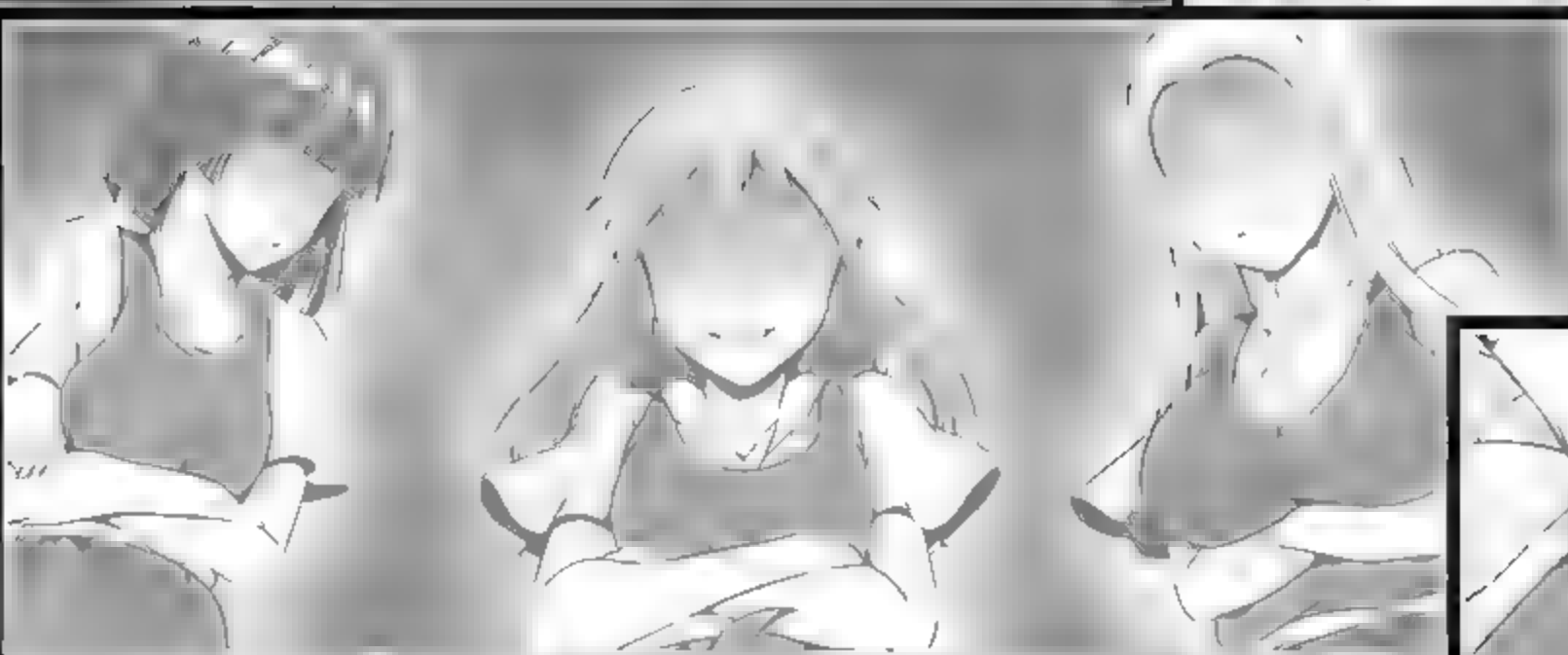
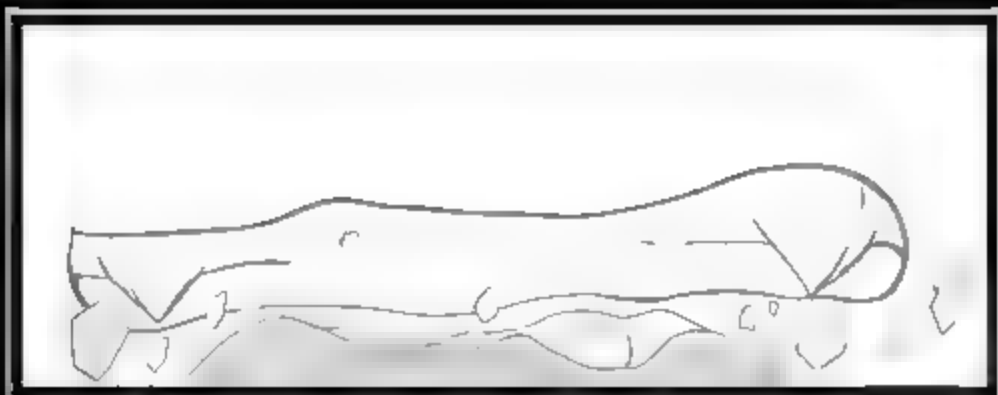
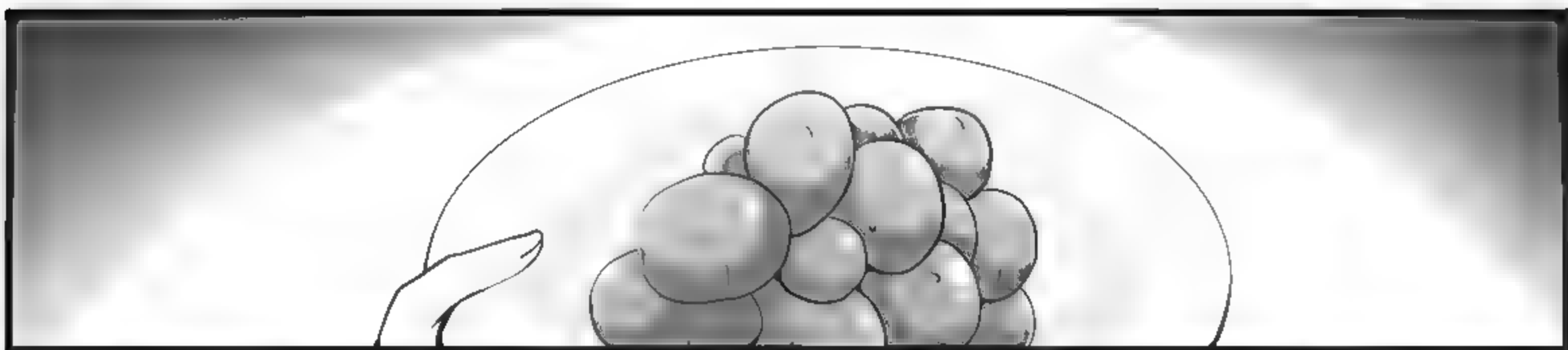
いいから食えご主人様の命令だ

ん〜〜〜〜♡
ふるっ
ふるっ
このカニおいし〜〜〜♡

しっかり食えよ健康な身体じゃないと抱いてもつまらんぞ
クズの我々のご主人らしいセリフだな…
パクッ

こんなおいしい物食べさせてくれるならいくらでもえっちしていいわ!!

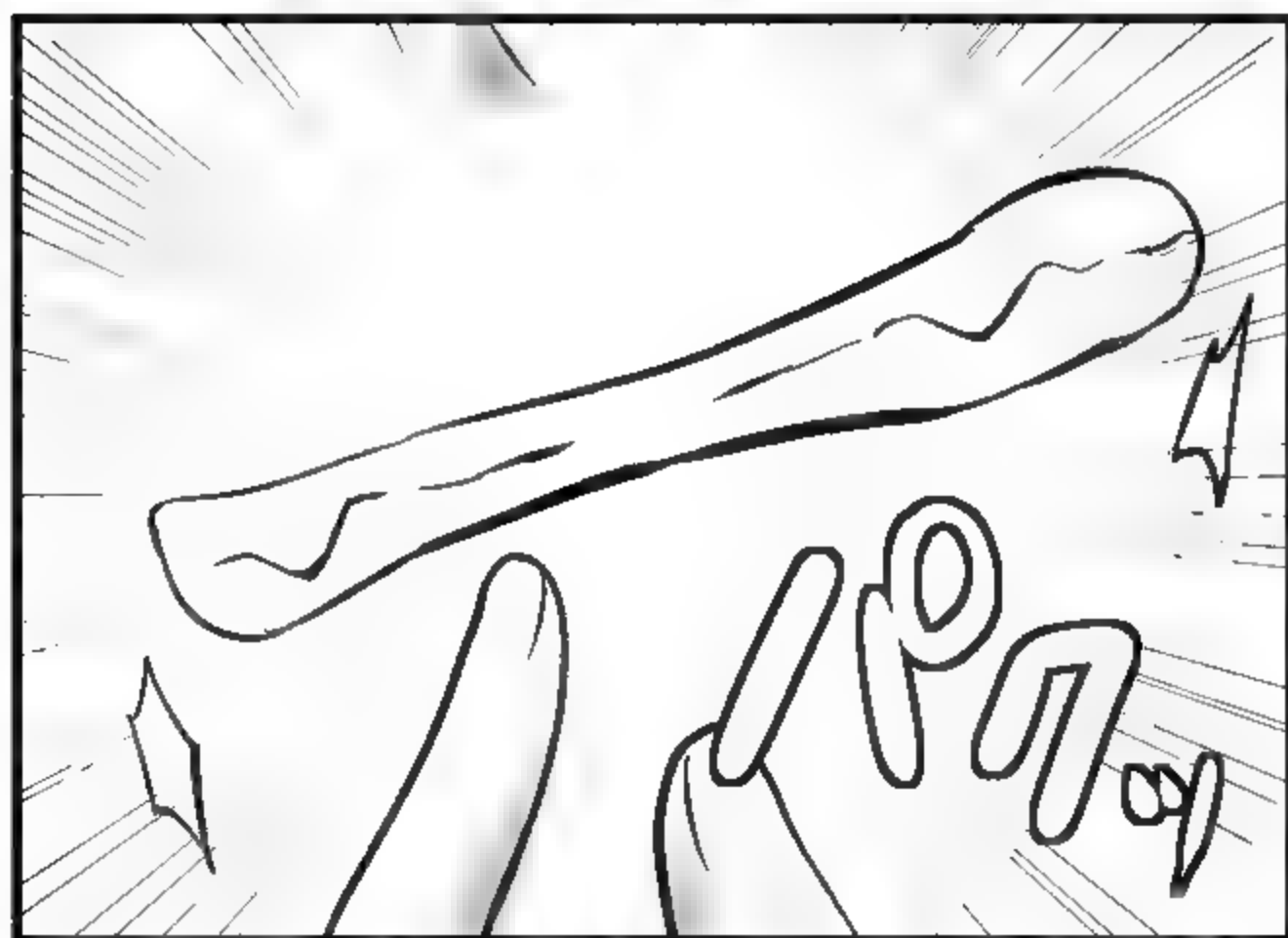
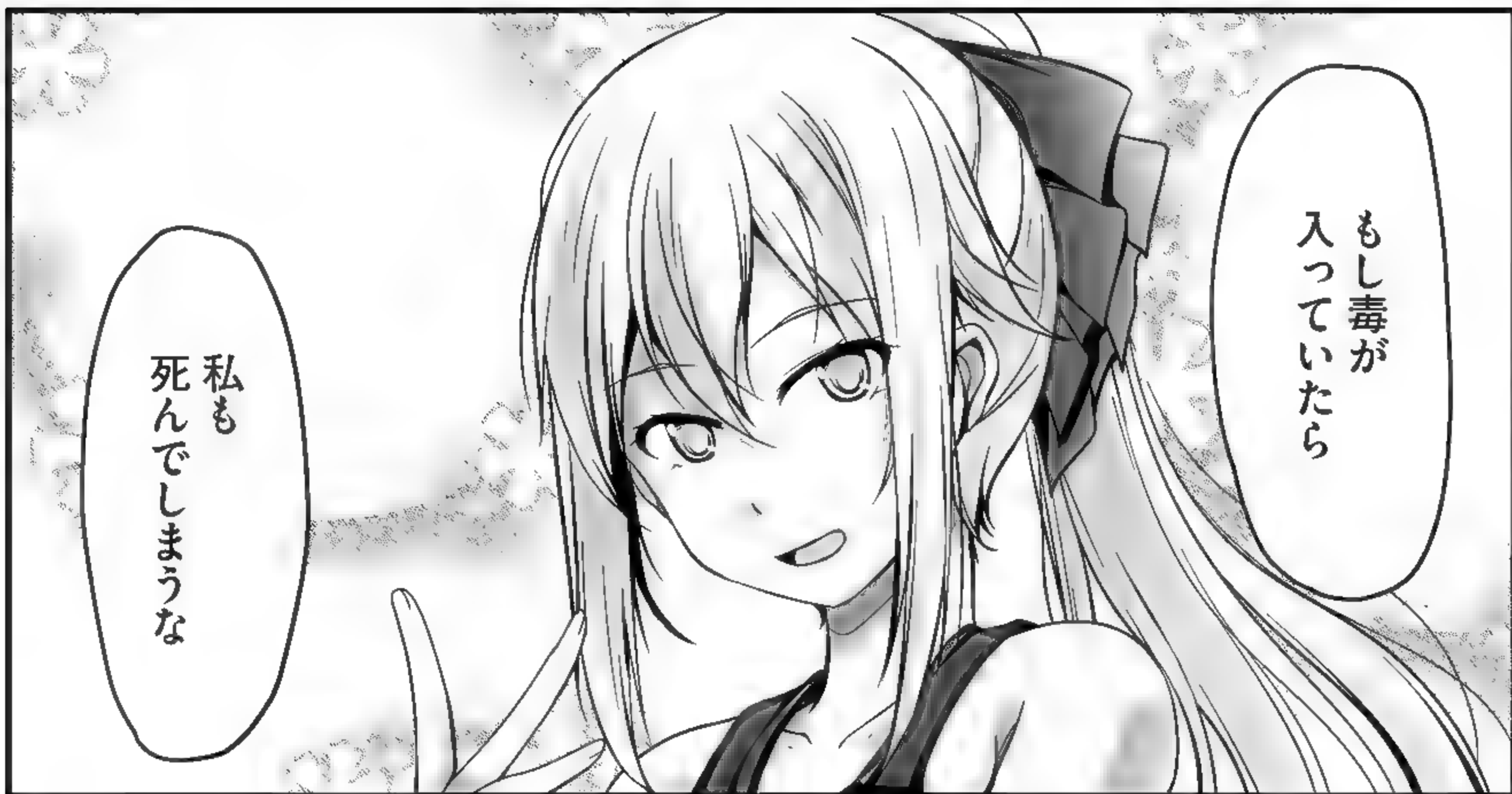
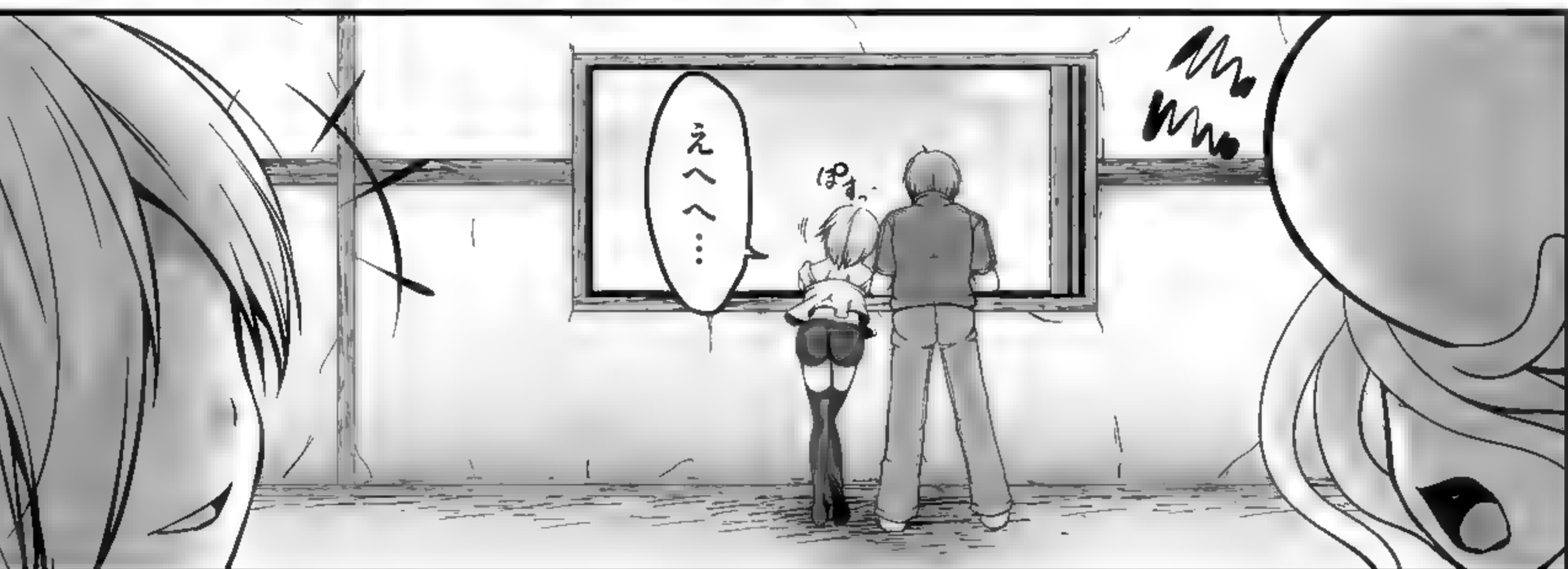
そんなにうまいか！わらわに感謝するとよいぞ!!
あなたが獲ったの？すごい！えらいわ！
…村長まで抱いたのか？
私など尻を犯されたぞ
ふぃっ

……
どうした？食べないのか？
!!
っ…たべる…たべるよ
ドキッ…

……っ
スッ
毒を盛られたトラウマが他人の用意した食べ物を拒否しているのか…
どうしたものかな…
スタ
スタ
パクッ
え…？
うむ…これは初めて食べたが瑞々しく香り高い果物だな
んぐんぐ

もし毒が入っていたら
私も死んでしまうな

おいしい…
っ……
じわっ
ふる…
おいしいよぉ…
おいしい…っ
うん…うん…
よかったな…
ぎゅーっ…

お主中々の美女ではあるが…スペタの匂いがするのぉ…？
海洋生物のわりに陸で鼻が利くじゃないか？
どれもおいしー！あなたうちの料理人にならない？♡
あにさまとあねさま専門なんです…
これもうまいぞ食べてみてくれ
う…うん…っ
お賃金は弾むわよ！謝罪も込めて…
…？
ええいお主はもう食うでないわ！
主が食えと言っているんだ断る
流れるような穏やかな時間だ
この日々をなんとかして守りたい…

あにさま…
あーん…
ミティ
ぴょこっ
ん…
おいしい…です？
ぱくっ
あぁ うまいよ
えへへ…
ぽすっ

この瞬間を守るために…！

勇者襲来まであと　－３日－

深夜まで続いた海産物祭りも終わり——

すー
すー…
すー…
うへへ…ぇ 磯くさくない…い… びしょうじょの… においじゃ…

【第10話】

あねさまは…やさしくて…強くて…なんでもできる

自分は弱くて…家事くらいしかできないのです…

パチャ

あにさまのそばでこうしていて…いいのかな…

あねさまは綺麗…

お顔に傷がついててもそう思ってた

でも…ケガをしてから…

あんまり笑わなくなった

あにさまと一緒に帰ってきたとき…傷が治ってた

ただいまって言ったあねさまは…笑ってた

8回くらいした
俺はこの後村を出て街へ行くけど
ゴッ
ゴッ
ミティはどうする？みんなといるか？
え…と…
人いっぱいいるの苦手だったよな
たしかに…苦手…でも
まぁすぐ戻る予定だから
あねさまならきっと…ふたつ返事で…それに…
いく…です
ん？
あにさまと…ごいっしょ…したいです…っ
ふんすっ
そうかじゃ着替えて出発しよう
なにかあにさまの…悩み…関係ある…かも…です！

さすが街は
人が多いな
はぐれるなよ
ミティ
はい…です！

人がいっぱい…でも
あにさまといるから…
すこし…
今日は…どんな
ご用事…です？
2軒ほど店を
まわるだけだ

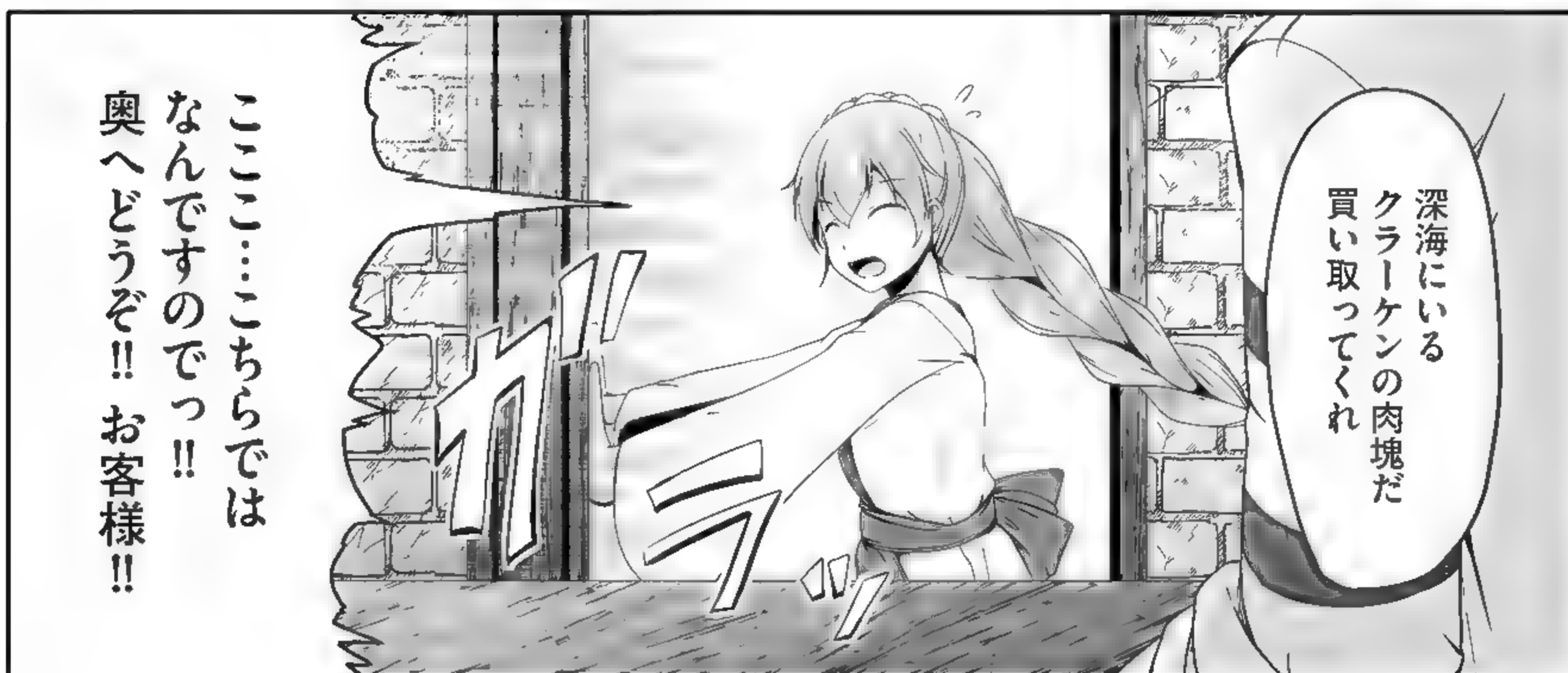
しかしあれだな
こうしてると
なんか…
デート
みたいだな
で…

お…ここだな
入るぞミティ
もじっ
あねさまにわるいです…
あねさまにわるいです…
えっちとデートは…
別のモノです…
あねさまごめんなさい

いらっしゃいませ!!
売ります買います!
素材市場へ
ようこそ!!

うるさいな…
コレを
買い取って
ほしい
はいよろこんでー!!

………

深海にいる
クラーケンの肉塊だ
買い取ってくれ
ガラッ
こここ…こちらでは
なんですのでっ!!
奥へどうぞ!! お客様!!

なんてすがすがしい味なのでしょう!!

コレは浜に偶然流れ着いた鮮度の落ちたクラーケンの肉とはまるで別次元!!

海原に昇る朝日のように輝きをまとったお味…!!

口内が照らされる…っ美しい光で!!

そう…今私は朝日をまとい空を舞うトビウオ…!!

ありがとう…海と太陽…!!

その食レポは鑑定に必要なのか?

それではこちら
買い取りの代金となります!!

重いのでサービスの
屈曲な奴隷も
おつけいたしますっ!!

ムッ!!

そのマッチョは
いらないから
下げてくれ

金が…っ!!

重力も支配して
軽くした

ラティと
ふたりで使え

あにさま…
これ…
世話になってる
代金だと思ってくれ

これだけあれば
食っていくのには困らないはずだ
行くぞ

死ぬつもりじゃないが
万一も考えておきたい
あにさま…
…きっと生命保険に
入る父親って
こんな気持ちなんだろうな

ギュ…

大事に…
しまっておく…
です…

目的はふたつ！

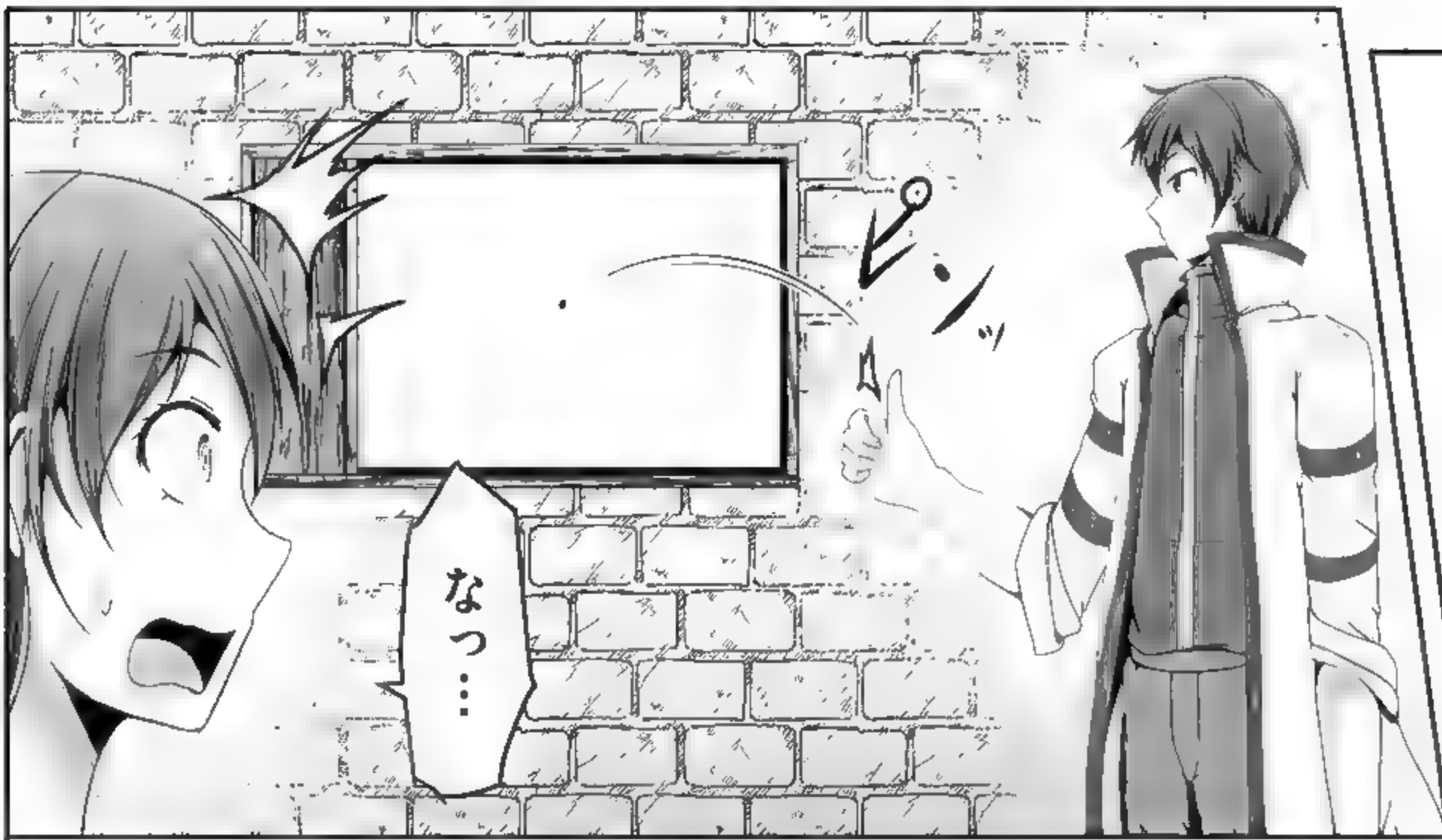
そのアイテムによるフラグを潰すこと
それでも強制的に進むイベントなら
「主人公」との和解の材料をつくる

もうひとつは――
いらっしゃいませ！
メルルの道具屋へようこそ！
旅に必要なアイテムはなんでもありますよ
ポーションに毒消し
食料に水
荷運びの馬も
手配できますよ
――この女だ
「俺」を殺す依頼をする
この「メルル」を…

…この店の家宝の種を売ってほしい
…そのようなアイテムは置いておりませんが…
家宝の種をくれ
ドン
し…少々お待ちくださいっ
能力を使えばタダで手に入るが…波風は立てたくないまだ…今は

家宝の種…！
こちらになります！
…普通の木の実…です
ひと粒でウチの売り上げ1年分に相当します！
この金の量…10年分はありそうですけども…
とんでもない！食べれば力・素早さ・魔力…種に応じた能力が上昇します！

もちろん効果時間はありますが…
大事に使用してくださいね
ぐぐ…
ピンッ
なっ…
なんてことをするんですかぁ!!
売ったとはいえうちの家宝なんですよ！
捨てるにしても私のいないところで…
どいてろ
——支配して
命ずる——

芽吹いて育て！
ズオオ
…1粒落ちろ
ポチッ
「主人公」の力は強大だ…特に「死」というフラグは立たないだろう
「主人公」のバカげた能力…俺と同じ異世界転生している人間の可能性もある
グッ…

これだけ実っていれば
報酬としての価値はなくなる…
「俺討伐クエスト」も
発生しないかもしれない

ミティ
あーんしろ
あ

わ…お力持ち…に
なりました…です！
グワン
うん 力の実の効果は
本物のようだな
あのーウチの庭
滅茶苦茶なんです
けど…

この木の実は
全部キミに
譲るよ
ええっ!?
好きに売るといい
他の実も全部
生やしてやる

管理に人が必要なら
奴隷商人も紹介しよう
ただ奴隷とはいえ
一般人と
かわらない待遇で
優しく扱ってほしい
ズオッ
それと…
売り上げの一部を
支払ってほしい

この街の外の…村に住んでいる
ラティという女騎士の家にな
わ…わかりましたでも…
こんなにしていただいても…返せるものは私には何も…
あまりにもその…申し訳ないというか
…そうか
それなら少し奥で話そうか
は…はいっ
もちろんです！
ミティは実を摘んでおいてくれ
はい…です！

さて…
今お茶をいれますから
少し待っててくださいね
もうひとつの目的…
ザッザッ…
この女の懐柔だ――!
むにっ
ひゃあぁ

利益分…
数十年分はある…っ!?

ど…どうしよう…っ
私のこと気になってたって…
それって…好き…ってこと?

もういれても
いいかな？
はー…♡
ぬと…
はー…♡
数十年分のお金…
私のことが好き…
それはつまり――
わ…私…
初めてなので…
優しく…
ああああ♡
ズププ
ププ
プロポーズってこと――!?

あっあっあ♡ あっ♡

んぅぅ〜っ♡

びくっ

ぐにっ♡

あん♡

は…ぁあ♡

はじめてなのに…っ 気持ちいい…っ

こんな気持ちいいことしてくれて…

お金持ちで…すごい力を持っている人に…

中に出すぞ
メルル…っ

はいっ…だしてっ
メルルのなかに…っ♡

プロポーズされちゃったら

あっ♡

パンッ

私――

んぁあぁあ♡なかぁあ♡でて♡

ビュルルルッ

落ちちゃう――

勇者襲来まであと――2日――

してもいいですよ♡

肥料持ってきたよ！
根元に播いてー
待って待って
下掃き終わってから――
そっちもう少し
土盛るから
その後で！
【第11話】
はーい
その作業が終わったら
休憩に入ってくれ
いい感じだな
働き者ばかり
５人も集めたからな

しかし奴隷といっても
みんな小ぎれいな子
ばかりだな
私のところは
みんなそうだ

…誰も好きで
娘を売るやつなど
いはしない

みんな家族を守るため
ひとりを犠牲にして
いるんだ
ならせめて
売られた子たちは
世に出て困らないように
まっとうに育ててやる
それが買う側の
責任というモノだろう

…そうだな
そのとおりだ
意外にコイツも
いろいろ考えてるのか

ドヤァ
よし！
上手に焼けたぞ!!
やはり美しいわらわは
なんでもできるの～

ほれヌシ様
食うがいいぞ

おぅ
ありがと

しかし奴隷商に
育てられて
真っ当に育つかのぅ
見た目はともかく
中身がスレとるぞ

お主のように

ぅ……

努力はしているが
周りがアレだからな…

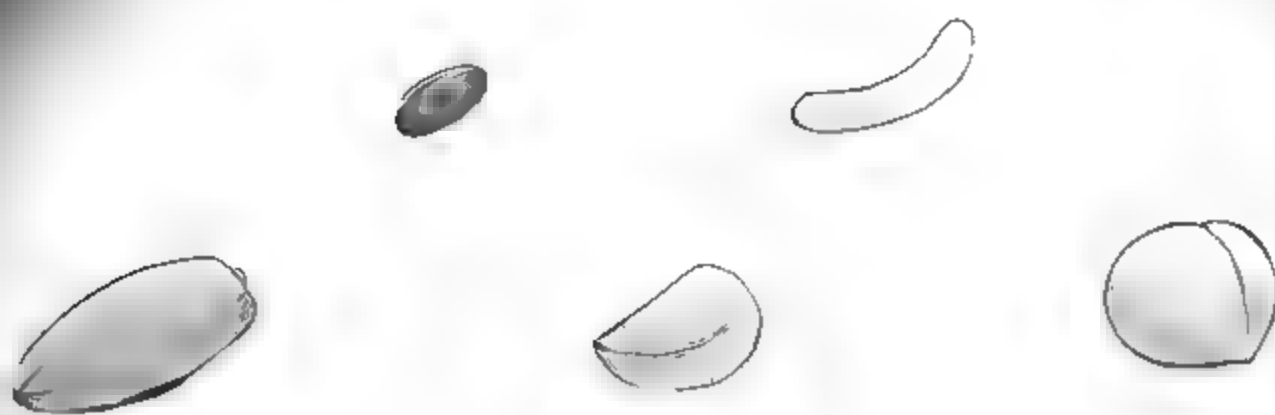
やはり
わかるか…

もぐ…

わらわの
美少女眼を
舐めるでないわ

…………

もう少し…
畑を広げたいな

力の実や種は
もちろんのこと…
普通の作物も
育てていきたい
俺が消えても
困らないように…
少なくとも俺に関わった
この奴隷たちも含めた
全員が――

それは難しいな
ラティ

これ以上広げると
村の外に出てしまう
キミも
知っている
だろう

村のすぐそばでさえ
外は多数の野生動物や
魔物が跋扈(ばっこ)している

くんっ…
コレのおかげだ
それは…
香水か?
キュポッ
うおっ…!?
ミスリル銀の香水だ
村の外に撒いて
魔物避けをしている
だが希少品でな
これ以上外へは
広げられないんだ
キュッ

魔物を遠ざけるだけなら…方法はあるぞ
本当か？
できるのならぜひ頼みたい！

バサッ

わかった
ついてこい
ただし…
来るのは
おまえだけだ
ビッ
私は
駄目なのか？
っ…
駄目だ…
わかった
ここで待っていよう
…ずいぶんあっさり
引き下がるんだな
気にならないのか？
その…
何をするかとか
ラティは
気にしないのか？

食い下がるなら言わなきゃいいだろ
ボッチ生活が長いせいで気にされないのはそれはそれで悲しいらしいな…
面倒にこじらせているなぁ
気には…なる
だが秘密にしたいことは誰にでもあるだろう言えないことは私にもある
それは…尊重しなくてはならない
友人ならなおのことだ
……っ
そ…そうだなっ友達だから…♡
えへへ…
うむ
待て!!1番の友達はわらわじゃ!!寝取るでないラティ!!
うん…ジェリーも友達…♡
も!?
寝てから言え…

さて…
森に来たはいいが何をする気だ？
すぐにわかる
もうこの辺りは魔物のテリトリーだが…
ビクッ
よし…この辺りでいいだろ
何か手伝えるか？
「枯れろ」
パキッ
必要ない少し…無防備になるから…
何も来ないよう見張っていろ…
すっ…

んっ……
なるほど
マーキングか
ゆっ…
どれ…
見るなバカ!!
ハーフとはいえ
ボクはドラゴンだ
ミスリル香水より
魔物避けになるはずだ
だろうな

しかしそんなに強い匂いなのか？
おまえっ!!何してるんだ!!
くんっ・・・
うおっ・・・キツ・・・ッ！
ぞぞぞっ！
ゾゾゾゾッ・・・
八つ裂きにされたいらしいな・・・!!
いや気になるだろ？
コロス!!

なぁもっと上にした方が雨とかで流れなくていいんじゃないのか

…しょうがないだろ膝を曲げないと出ないんだよ

空飛びながらだとどこに飛んでくかわからないし…

そうか

なら——

こうすれば解決だ

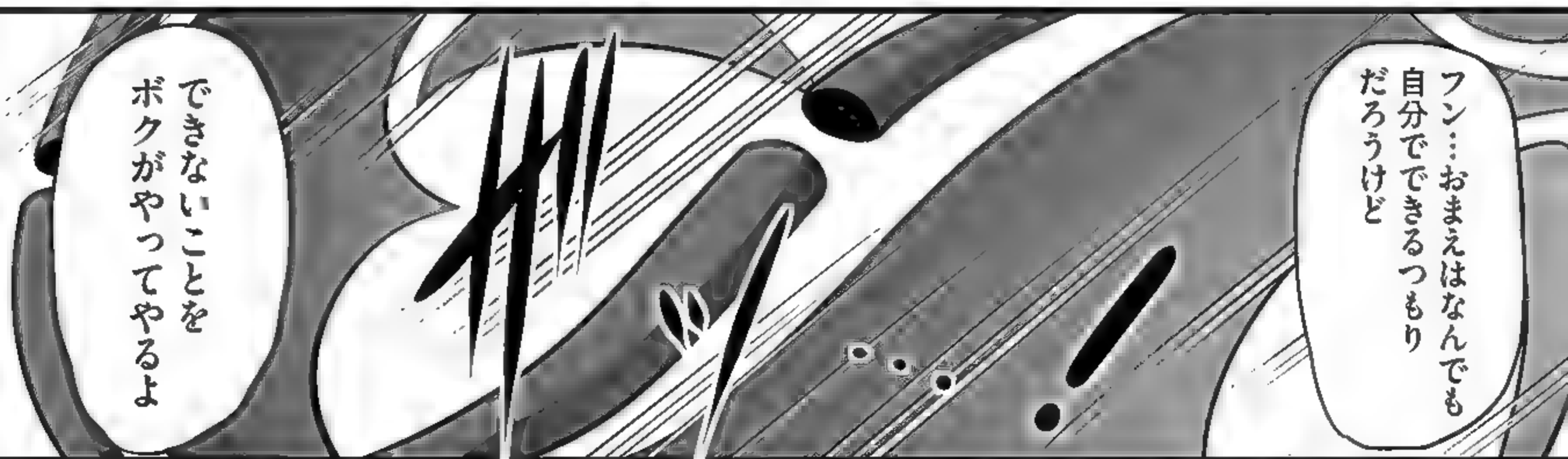
ぐいっ

なっ…や…何を…っ!?

おまえあとで覚えてろよ…！
ほら早く
く…くそ…なんでこんな…っ
パシャっ
うんいい位置だ次はどこだ？
事務的にやるなっ…こんなこと…
…よしコレで最後だ
…で

なんでおまえは大きくしてるんだ
そりゃこんなの見てたらな
…変態
女の放尿見て興奮するなんて
みんなが知ったらどうする気だ
…このままじゃ帰れないだろ本当に仕方のないやつだな
ほら…しても…いいぞ
ぷりっ
おまえも濡れてるじゃないか期待してたのか？
うるさいっ!!早く挿れろバカ!!
あっあっ
やっまたイクっ

…してもいいとは
言ったけど!!
何回するんだよ!
腰が痛いだろ!
今朝もラティと
してたくせに!
見てたのかよ
まぁそこで休んでいろ
最後の仕上げだ
ドバ
吹き飛べ

ま…これくらいの広さで十分だろ
おぉ…
こ…これくらいボクもブレスで一発だぞ！
驚かないぞ！
その方が焼き畑でよかったかもな
フン…おまえはなんでも自分でできるつもりだろうけど
ザッ
…！
できないことをボクがやってやるよ
え？
ぎゅ～～う
じっとしてろ
トッ

どうだ上から見ればよくわかるだろ
おぉ…すごいな
ん…あれは
魔物たちが逃げていくな
当たり前だドラゴンの縄張りになったんだぞ

人間はキライだけど…おまえの周りの人間は…好きだ

おまえのことも…キライじゃない

だから…

みんなを悲しませるようなことするなよ

…返事はできなかった

ガィァァァァ
…アンタの「武器」を
「無効」にする
ジュウゥゥ

アンタの
「呼吸」を
「無効」にする
ズゥゥン
おぉ…なんとすごい
キングサイクロプスを
たったひとりで…！
あの方こそまさに
勇者様…！
見ろ！傷ひとつ
負っておらん!!
フン…
あぁんな
クソ雑魚…
倒せない方が
どーかしてる
じゃん？

さ～てっ

次のイベントは…っと～

序盤の…「カマセ犬」の退治～？
うわ～～～！超雑魚じゃん？
サイクロプスの次じゃないっしょふつーさぁ？
さっさと瞬殺して次いこっかなー♪なんたって

アタシって
勇者だし？
——明日 勇者襲来——

君の噂は聞いている
西の街で怪物を
倒したそうじゃないか
神に選ばれた
能力者同士
友好を深めよう
じゃないか
【第12話】
この料理は君のために
用意したんだ
遠慮せず食べてくれ
もぐっ…

ククッ！
かかったな！
この料理には竜殺草が
入っているんだ！
物理も魔法も無効にできても
毒までは防げまい!!
竜すらも1秒で殺す
猛毒だ！
ビッ
さぁ死ね！
勇者よ!!
ごちそうさま
な…馬鹿な!?
毒すら…
効かないだと!?

ガタッ
俺の能力は
すべての「攻撃」を
無効化できるんだよ
毒は明確な
「攻撃」だ
ひっ…
残念だな
料理が本物なら
和解の道もあったが
もう殺すしかない
俺は「指示」する——
おまえの「命」を
「無効」にする——
や…やめてくれっ
助けてくれっ！
死ぬのはいやだあああ!!

うぁあああぁあっ!!!
ガバッ

あ…ゆ…夢か…
くそ…っ

…どうした？

ら…ラティ…いや
なんでもないよ
ちょっとヤな夢を
見ただけだ

起こして悪かった
今度はいい夢見るさ
おやすみ
ラティ
……いや

少し夜風に
あたらないか

…私がドラゴンを討ちに行ったときもこんな静かな夜だったな

…そうだな

いたのはドラゴニュートだったけどな

同じことだ

私のやろうとしたことを考えればな

…なぁ何を隠しているんだ?

私はまだ君に恩を返せてはいないんだ できることがあるのならなんでも…

ギュ…

…別に何もないよ
むしろ俺の方が
ラティに感謝してる
もし出会わなかったら
なんて
考えたくないほど
だから何か
してほしいことが
あったら
言ってくれよ
俺はなんでも
できるからな！
ぐ…
ハハハ…
…私はそんなに
頼りないか
ん？
…欲しい物は
なんでも言って
いいのか？
あぁ
なら――

君との
子が欲しい

え……
いつも避妊薬を飲んでいるが今日は飲まない

体調的にも今日はできやすいはずだ
…なんでもしてくれるんだろう？

…私は強欲な女だ
君が消えてしまいそうで
君を繋ぎとめたくて
あっ
あっ
あっ
あっ
君の優しさに
甘えている
ずぷっ
ずぷっ
ずぷっ
キス…
して…
私は君の不安を
消せないのに
何もできないのに
君の1番の女で
いたい――
ん…好き…
好きだ…
あぁぁあっ
でてるぅ
君の妻になりたい――
ドプッ

ごちそうさまでした！
うむっ！今日の朝食も美味であったぞ！

えへへ…ありがとですっ
うん…ミティの料理はどれもおいしい
まさに天下一品じゃ！城の料理人にもひけをとらんじゃろ！

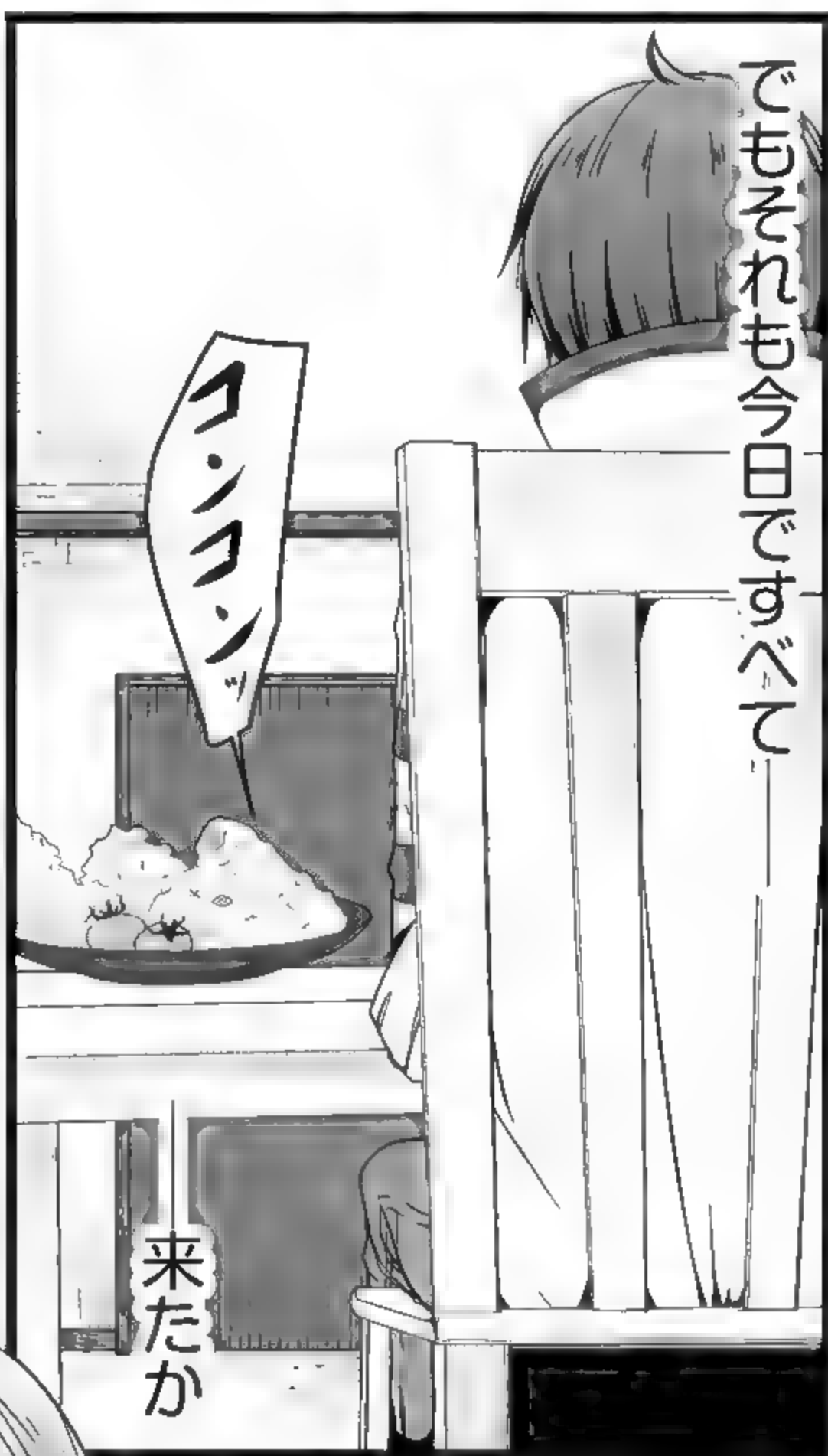
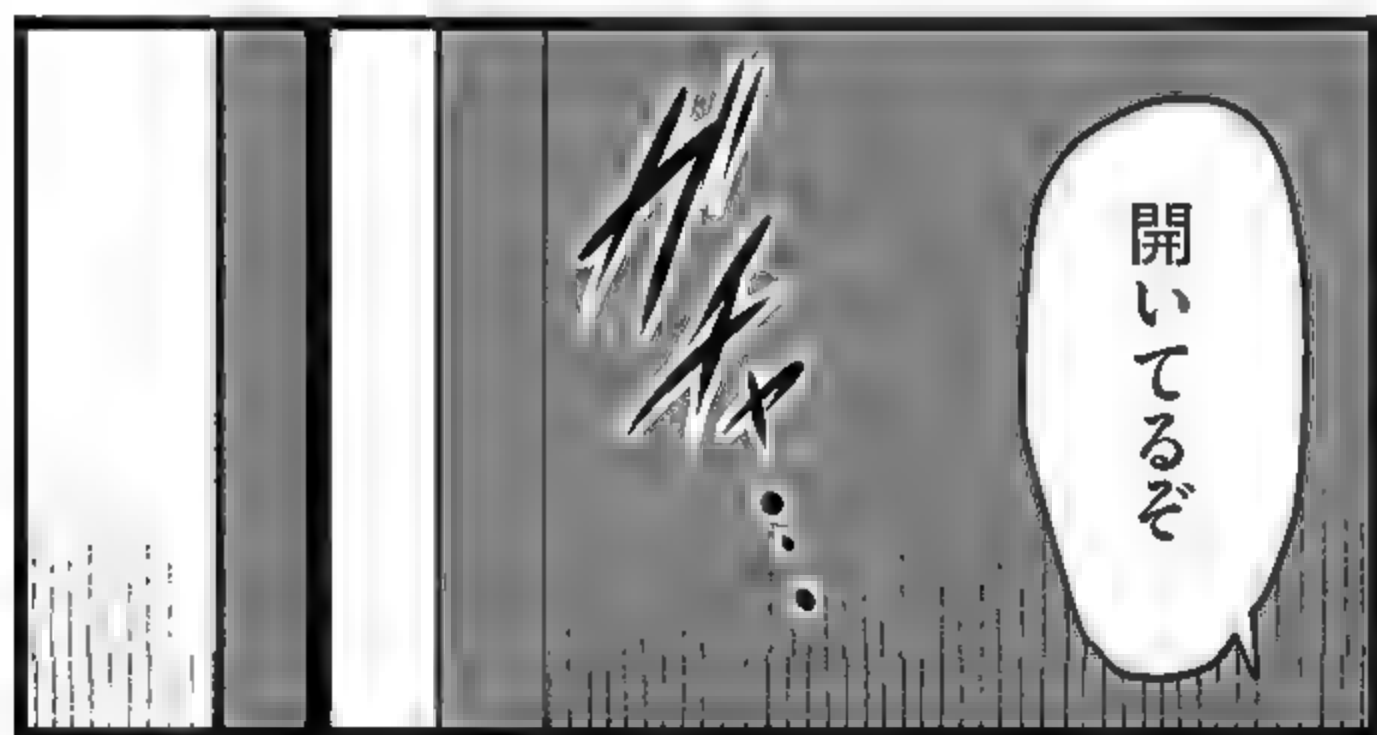
えへへ…あねさまお皿これで全部…ですっ
あぁそこに置いてくれ

その…ジェリーは今日はどうするの？
団欒もコレで終わりか…
さて…始めるか
果樹園を手伝うぞ！見た目は好みの少女がおるからのぅ！

ミティ
はい…あにさま
今お茶…を
あ…あにさま?
「ミティは今から
俺がすることに
違和感を覚えない」
ボソ…
――あ
ミティ以外の全員っ!!
「支配して命ずるっ!!」
な…
っ…!!
!

皆は俺のことを忘れ村長の家に行く――
24時間以内に俺が死ねば俺を永遠に忘れる――
この家に何かあれば渡した金でなんとかしてくれ
わかった
うん…
あぁ…
もうしばらく後に「勇者」がここに来る――
全員避難させなくてはいけないこの家もぶっ壊れるかもしれないしな…
あとは――
チラッ
っ…
ザッ
…あにさま私…は
あぁ…
ミティは
料理を作ってくれ

できました…
うん
ありがとう
よし…
「ラティたちの所へ
行っていいぞ」
はい…です
トタタ…
うまい料理は
材料を支配しても
できないからな
魚に料理になれって
命じても焼き魚になる
だけだったしなぁ
ギッ

短い間だったけど――
いろいろあったな――
でもそれも今日ですべて――
コンコンッ
来たか
ガチャ…
開いてるぞ
どーも――
女――!?
勇者で～す♪
退治しに来てあげたわよ～な～んてっ♪
しかも少女――

まさか勇者が女だとはな…
かわいい女の子でビックリしたぁ？おじさんっ
君の噂は聞いている西の街で怪物を倒したそうじゃないか
原作はアニメも男のはずだ…ということは…
神に選ばれた能力者同士友好を深めようじゃないか
性別が変わっても台詞は同じなんだ別にいいけどさぁ
コイツは――
へぇ～コレなかなかおいし～じゃん
表示されてなくてもこんなのがあったんだぁ～
おそらく――！

俺はプレイしていないがゲーム版では性別が選べるらしいからな

おまえはそっちから来たんだろう？

ふ～～～ん？

アンタも転生組ってわけ？

おまえと取引がしたい
へ～～～～え？どんな？
俺を倒せば手に入る「力の種」それを栽培した果実がこれだ
ふ～ん？
果実はいくらでも増えるつまり種も無限にキミに提供することができる悪くない話だろう？
そんなもの大量に作ってさぁアイリを返り討ちにしようって計画なんじゃないの～？
おまえには物理も魔法も「毒」ですら効かないことはよく知っているよ
ハッキリ言って俺には手も足もでない
よくわかってるじゃん

そうアイリは無敵だし？
なにせすべての「攻撃」を自動で無効化できるし？自分から「何か」を無効にもできちゃう
ガリッ
最強じゃん？
おじさんを殺すのも簡単なわけだけどぉ どれどれ～？
…その本は？
攻略本しらないのぉ？内部データも全部載ってんの
大事なことはネットにはないんだよぉ？
もっと本読めおっさん♪
ネット世代のガキのくせに…
う～ん おじさんの生存ルートは載ってないなぁ
パタッ
まぁ殺す必要もないかもだけど…

おじさんさぁ
死にたくないんでしょ？
…当然だ
そのためならなんでも
してやる
ふ〜〜〜ん？
じゃ〜〜〜あ〜〜〜〜
土下座してよ
ペロッ
なっ…
見てみたいなぁ♪
アイリみたいな美少女に
死にたくな〜いって
情けなく
地面に頭
擦りつけるとこ〜
しないなら
すぐ殺すし
くそ…性格の悪い
メスガキが…
だがそれで助かるなら

やるしかない――!
し…
死にたくありません…
命だけは
助けてください…っ
うっわ～～～♪
マジでやるぅ?
プライドないのぉ?
ゴリ…
くそ…っ
我慢だ…!
ゆ…許して
いただけますか?
はぁ?
ダメ
なっ…!
したら許す
なんて
言ってないし?
殺さないと
イベント進まない
かもじゃん?

ポゥ。

それにおじさんの相手もそろそろ飽きたし？

もう殺す

やっぱり無理なのか…っ
死ぬ運命は…！

アタシは「指示」する――

なっ…なにこれぇっ
おまた…っ♡
おかしい
よぉ…っ！
かゆい…っ？
ちが…っなにこれっ
賭けだったが
どうやら効いて
くれたみたいだな
あっアイリに
なにしたのっ
ゲームではカット
されていたみたいだな
この——
性欲と感度を
百倍にする果実…
アニメにもないんだが
原作小説には
あるんだよ
もっと本読めよ
アイリちゃん？
くそっ…なんでぇ…っ
アタシには「攻撃」が
自動で「無効」に
なるはずなのにぃ…っ

「快楽」は「悦び」で「攻撃」じゃない
そう判断したんだろうな
ひっ…
おまえの「能力」は
試してないんだろう？どこまでが「攻撃」じゃないのか…俺が確認してやるよ
や…ぁ…アイリになにを…っする気なのぉ…
やだ…怖いよぉ…っ
もっと喜べよネットにも本にも載っていないゲームでもアニメでも体験できない——
実技の——
時間だ——
ぞくっ
ぞくっ
じゅわっ
じゅわっ

はぁっ
はっ…
んぅっ
ドサッ
あ……っ
や…やめて…よぉ
アイリもう
アンタを殺さないからぁ…っ
ね？
取引しよ…っ？
アイリ集中しないと
自分の力使えない…っからっ…
これっ…消してっ？
そしたらなにも
なかったことにして…っ
帰る…ぅからぁ…っ
ふるっ
ふるっ
ふるっ
【第13話】

悪くない取引だが…
俺はおまえを信用できない
思うようにやらせてもらう

ひっ…

んくほおおおぉ♡♡

にゃ…にゃにしたのぉぉ♡

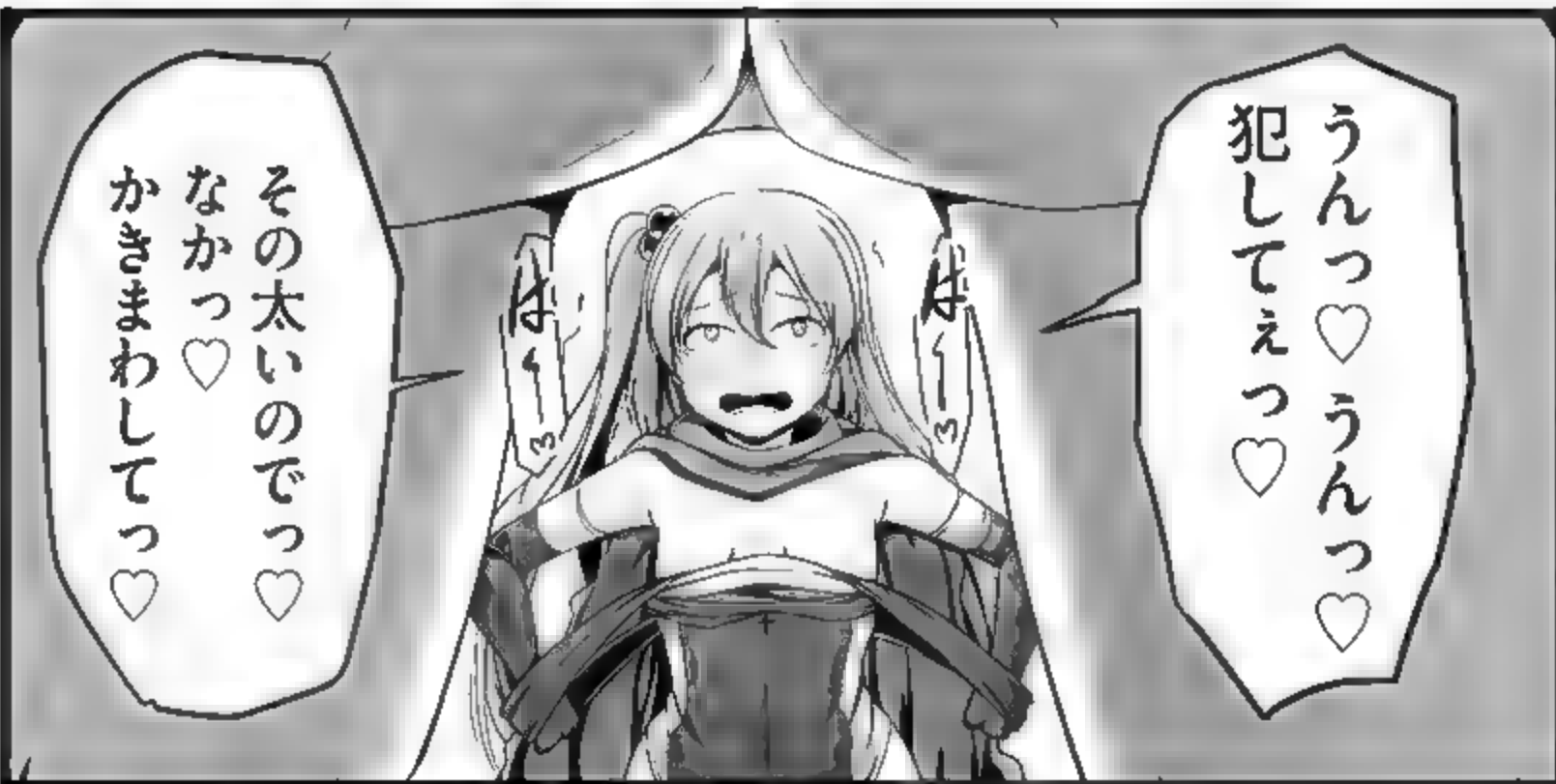
「感度」を数十倍に高めてやったバフ効果だからおまえにも効いてるだろ?

俺には想像もつかんが実との相乗効果ですごいことになってるんじゃないか?

んほっ♡

んぉぉ♡

もう聞こえてないか?

オナニーくらいじゃ
おさまらんよ
さて…今はコレでコイツを無力化できたが一時しのぎにすぎないのは事実
実の効果だって有限だ

実の効果を…自分には
効果がないようにした…
だが俺の体内には——

ふりっ♡

ふりっ♡

はやくっ♡
いれてぇ♡

ぶちこんでぇぇん♡

はぁ♡
はぁ♡

実の成分が大量に身体を駆け巡っている！
ビクンッ
ずぱ～～ん！
おほぉおお
それは体内で濃縮され体液に多量に含まれて排出される――そういう設定だったはず
あぁ
女がイク時に膣が締まるのはラティたちで経験しているが…
おまえイキっぱなしだなすごい動きだぞ膣が
体液…そう精液だ膣も肛門と同じく「内臓」だ「薬」を高吸収する別に尿でもいいんだがそれは最終手段だな
実の効果は摂取した量でどんどん増えていく――コイツがぶっ壊れてしまうまで感度も性欲も何千倍にも上げてやる！
脳が機能を止め正気を失うまでどれだけかかるかわからんが…俺が生き残る方法はこれしかない！何日でも続けてやるぞ!!

まだ終わらないぞ…！
何十回でも犯して…

ん…？

ズゥゥゥゥゥ…

な…なんだ⁉
身体が…消えていく⁉

「無効の勇者」の
敗北を確定します

「支配の勇者」の
勝利です

は…敗北？ 勝利⁉
いったい
どういうことだ⁉ ヤツはどこに消えた⁉
この声はいったい…⁉

で…アンタは
いったい…？

私はイシュタル…
人々は私を「神」と
呼びます

か…神だと？
あんた…本当に？

あなたをこの世界に
呼んだのは私…
それなら信じますか？

それが本当なら
疑いようはないが…
すべて説明すると
言ったな？
俺も把握はしたい
続けてくれ

——あなたが存在した世界では
「アニメ」「漫画・小説」
そして「ゲーム」…
そういった媒体から
いろいろな世界と接するでしょう？
●●とついに決着…！
感動の最終回
…あぁ
俺も多数
嗜んでいるよ

そしてその世界に
深く想いを巡らせる…
そこに自分が存在し
旅や冒険をするように——
まぁつまらん仕事中や
寝る前とか…
みんなするよな？

その想いは「鍵」となり——
私の力によって
その世界の扉を開き
魂をそこへ移すことが
できるのです
…なるほど
俺はそうやって
ここにいるわけだな

わかった
まだ信じたわけじゃないが
それが事実と仮定して
飲み込むことはしてやろう
それならばひとつ
不明な点がある
そんな空想は
誰だってするものだろう
俺が選ばれた理由は？
それを
聞かせてくれ
いいでしょう
ですが…
ここから先は
彼女たちにも同席して
いただきます
ラティ…!?
みんなも…

全員俺が支配していたはず…！
それは私が「解除」しました

解除だと…？
そんなことができるなら…神で確定か…？

少なくとも俺よりはるかに…って
ラ…ラティ？

どうした？なんか怒って…

ら…ラティっちょ…苦しい…っ！
事情は先んじて私が説明しましたので…

神様を睨みつけておったからのぅ
すっごく…心配してた…のですっ私も…ですっ！
フン…私は別にどうでもいい…

そもそもコイツが
死ぬわけないからな
殺しても動きそうだ
ほ〜〜〜
そうじゃったかの？
あとでみんなで戻ると
言うておるのに
ひとりで飛んで戻ろうと
しておったじゃろうが
本当は心配で
しょうがなかった
くせにのぅ
ニヨ ニヨ
なっ…
…ッ
余計なこと言わないでっ
ジェリーちゃんっ!!
あの〜…
みなさん…
そういうかわいい反応が
見たいからのぅ〜
話を続けさせて
いただけると…
そうだな…
ラティそろそろ
離れてくれ
神様の話
聞こう？ な？

え～…先に彼女たちには話したのですが…

無効の勇者アイリとあなたが戦うことは想定のとおりでした

…その結果彼が死んでいたらどうする気だった…?

落ち着けラティ

アイリ勝利が濃厚で揺るぎないかと思われましたが…結果は――彼が勝利しました

不利を有利に―― 不可能を可能とする力がある―― 私はそう確信しました

いいえ…それは彼やアイリが――

強大な「欲」の持ち主だからです

よ…「欲」?

性欲が強いだけの男に力を与える意味がわからぬぞ
アイリとかいう…小娘も性豪であったのか？
いいえ　彼女は別の欲…

アイリは「加虐欲」が異常なほど強かった　命を奪うことにためらいがまったくないほどに
加虐欲だと!?

そんなやつに力を与えればどうなるかは子どもでもわかるはずだろう!!
理由もなく人を傷つける化け物が生まれるだけだ!!

今からそう遠くない未来――
「邪神アブソシューツ」が
復活してしまうのです

じ…邪神!?

えらく仰々しいのが出てきたが…何者だそいつは

すべてを破壊するもの…そう思っていただいて構いません

…まさかそいつを倒すためにか？ヌシ様を呼んだのは

どれ程のヤツか知らんが人間ひとりが勝てる相手じゃなさそうに聞こえてるぞ

コイツは小娘ひとりに手こずるヤツだぞ勝てるわけもない

ですが彼にはやっていただきたいと思っています

冗談じゃない!!また命を危険に晒せと言うのか!?

ラティ…

邪神なんて人にどうこうできるやつでは——

あの…

ピッ

!

いい…ですか？

神様なら…ご自分で戦う方が…いい気が…しますっ

神様対神様なら…互角…です

なるほど一理あるな

そうだ…っ! いいこと言ったぞミティ!!

アンタはふざけた能力を作り出して与えられる力があるんだろ?

自分で戦えば圧勝できるんじゃないか?

…いいえ

残念ながら私にはスキルを生み出し付与する力はあっても戦う力が——ありません

自分に付与してもうまく扱うことができないのです

馬鹿な——
そんな都合のいい……

…いや

名鍛冶師が
剣豪とは
限らないだろう
作れても使えないは
別におかしくはない

ええ
スキルを
扱う力は
「欲」の強さと
比例しています
私にはそのような
「欲」の強さが
ありません…

だから私は探しました
欲深き魂を持つ者を…

そして争わせ選別したのです
多くの勇者はアイリに
敗れ去りました——

そのアイリをあなたは
知恵と奸計をもって
討ち果たした——

お願いします
その強き魂と知恵を
使い——

どうか邪神を——

このゲートをくぐれば元の世界へ帰ることができます

あなたが断るのなら…その意志は尊重しなくてはなりません

ま…待て！
帰って…しまうのか⁉
邪神と戦われるのも
イヤだが…！
キミがいなくなるなんて…
落ち着いてください
ラティさん…みなさん
貴女たちに今ここに集まって
もらったのはこの時のため…
このため…
じゃと？
このゲートは5人程度なら
同じ場所・同じ時間軸に
一緒に戻ることができます
みんなでコイツの世界に
いける…ということか
えぇ…彼が一緒に戻りたいと
思う方々は貴女たち4人だと
思いましたので
この場に集まってもらったのです
…あなたは私の都合で
この世界に招かれ
数多くの危険と不安を
味わわせてしまった
そのお詫びとして…
戻った世界でも
5人で遊んで暮らせる程度の
財産も一緒にお渡しします
…これが私にできる
精一杯の誠意です
さぁお選びください
残るか——戻るかを——

…神よ！
勝手に決めるでない！
わらわは一緒に行くなどと
まだ承諾してはおらんぞ！

わらわを幾度も犯し
好き放題した男と一緒など
いくら神の言うこととはいえ
易々と従いはせぬ！

じゃが…まぁ？
わらわが好きじゃ
一緒がいい！と
ヌシ様が言うのなら？
行ってやってもよいぞ？
ヌシ様の世の
海も見てみたいしの？

えっちも…
たまにならしてもよいぞ？

…私も一緒に
行くぞ

山から引きずり出し
友達まで作らせたんだ
こんな責任は
一生とってもらう

そうするなら
えっちくらい…
してやってもいい

結婚して
嫁にしろって
意味か？

ちがうっ!!
調子に乗るなっ!!

私…は…
あにさまと…あねさま…
一緒がいい…ですっ

あにさまの…お世話も…
えっちも…いっぱいする…
ですっ！

…そうか

…ラティは？

…言わずとも
わかっているんだろう？

キミのいる所が――
私の居場所なんだ…
ぽすっ

…それでは4人とも
彼とともに戻ることを――
決めたようです
…では
――ご決断を
「支配」の勇者様――

俺は・・・

戻らない

【第14話】

ま…待て！
もう少し考えてくれ！

戦わずに安全で裕福な暮らしを保証されているんだぞ!?

キミと…いや皆と一緒に平和に暮らすのは悪い話じゃないはず…

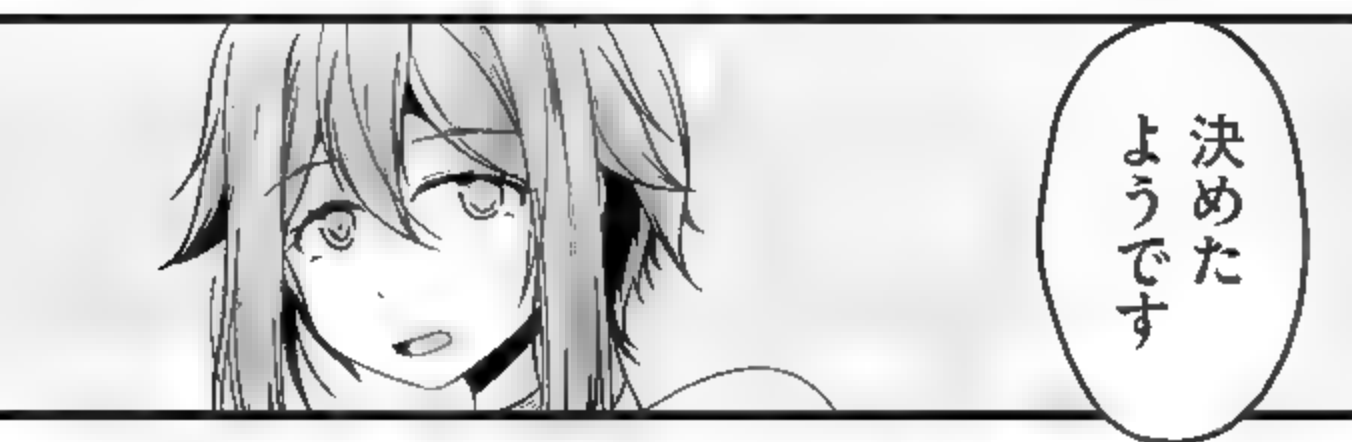
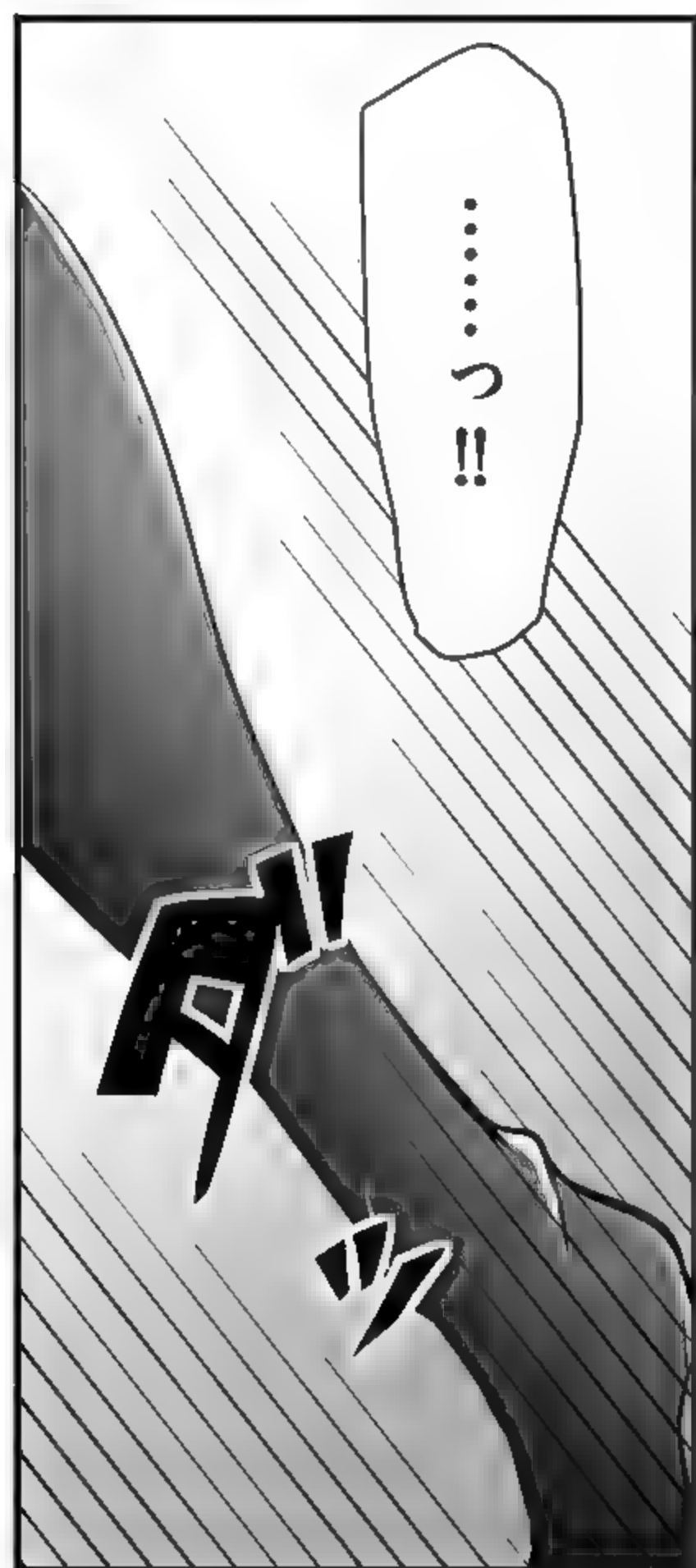
ふむ…では
ヌシ様を置いて
わらわたちだけで
行くのはどうじゃ
え⁉
ほう

ジェリーちゃん
いくらなんでも
それは…

それは…
おひどい…です

いや…それは少し
考えていた
俺にとっても
おまえたちは大事だ
不自由なく安全に
いられるのなら
それでもいいからな

……っ‼

バカっ…!
言っただろう!?
キミが私の
居場所なんだぞ!
ギゅっ
私も…一緒が
いい…です
フン…
知らない場所で暮らすなら
おまえくらい
遠慮のないやつがいないと
ボクも不安だ
…ところでジェリーちゃん
本気でボクたちだけで
行く気だったの?
いいや?
単にヌシ様の考えを
聞きたかっただけじゃ
わらわたちをどう思っているかの
どうって…?

わらわたちと同じでヌシ様もわらわたちを大事なのかと…の
大事…なんだアイツのこと
もちろんじゃ
なにせこんなかわいい友達を作ってくれたからの♡
あ…うんっそうだね…っ
んんっ…ではみなさん戻らないということでよろしいでしょうか
あぁ…だが
だが？

代わりにあんたとヤらせろ
え…っ
ドキッ
それは私とせ…セックス…したいということですか…？
おい…さすがに神相手だぞ！
見境のない性欲すぎんかの…
ザッ

だからアンタの
身体をよこせ

私の身体を
要求せずとも
彼女たちが…

ギュ…

抱ける女は
多い方がいい

だから
アンタもそのひとりに
してやろうってことだ

この「支配」の
力でな!!

ポゥ…
!!
っ…身体が…っ
重…い…っ!!
ググググ…ッ
「今」はまだ私の力の方が
あなたよりずっと強い…
お忘れですか
あなたの「支配」を
私が解除したことを
ぐ…っ!

「支配」が利かないくらいは予想していた…そこからの交渉予定だったんだが…
ググ…ッ
力ずくで平服させられるとは…対等な力で交渉は無理ってことか…
たぷっ
ふわっ
いいや…気になってきた…っこんな力のある女が…「力」で屈服する姿が…！
な…立てないはず…！
どんな声で鳴くのか……
ググ…ッ

ちぜお゙お゙お゙!!
ビリ
ビリ

な…
むぅ…あれは覚醒か!!
お姿が…
知ってるの!?ジェリーちゃん!

どうだ
アンタの「力」は「今」上回ったぞ

そ…
そのようですね

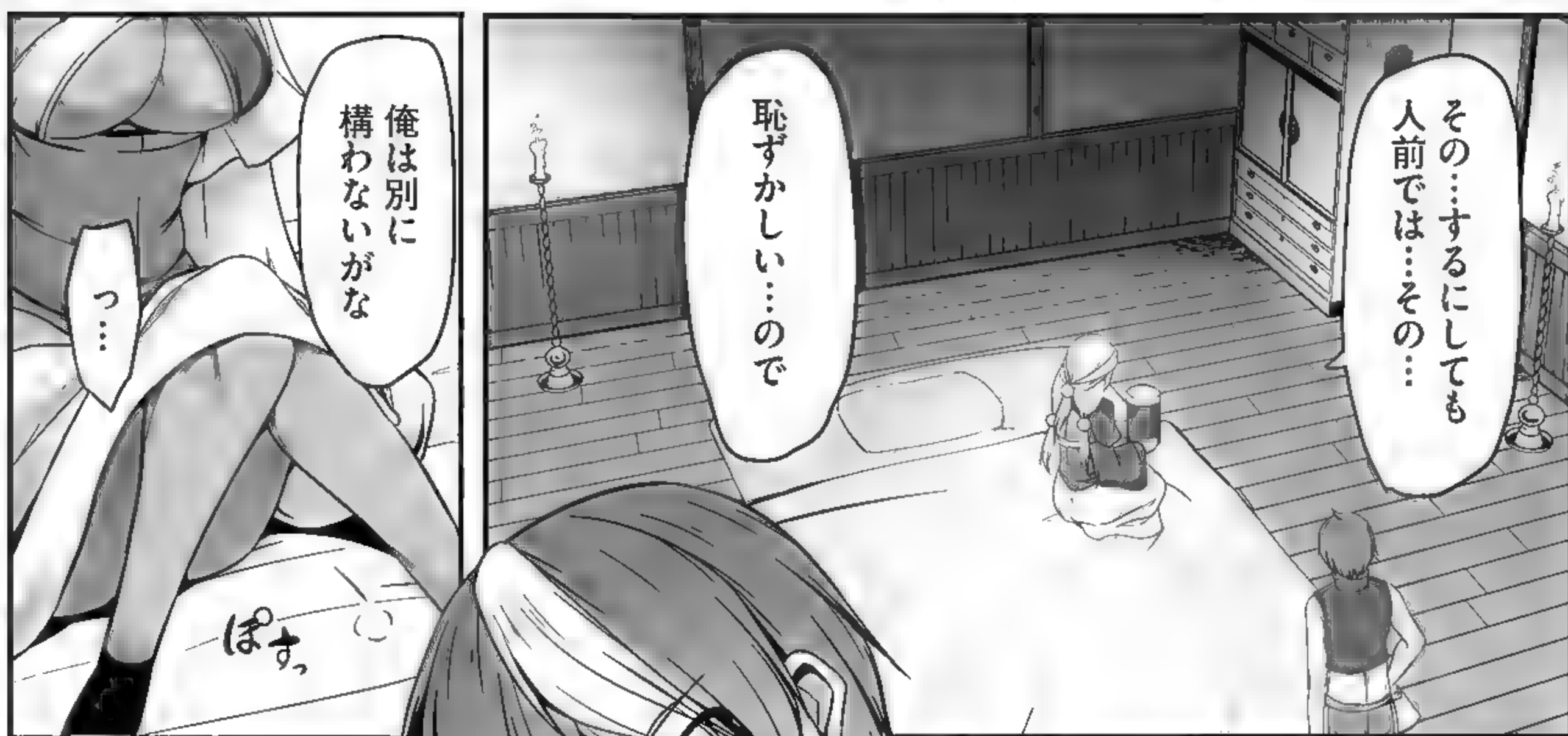
理解が早くて結構だ

抱くぞ

っ…
はい…

場所を――

変えましょう

ここはアンタの家か？
空間移動も
できるんだな
…異世界移動の
応用です
その…するにしても
人前では…その…
恥ずかしい…ので
俺は別に
構わないがな
っ…
ぽすっ
抱かれるのは
承知しただろう？
「支配」はしない
「自分の意志」で脱げ

は…はい…

スッ…

ですが…私…

こういう経験は…その…なくて…

あっ
あっ
あっ
そんな…っ
そんなところ…っ
びくっ
舐めるなんて…っ
びくっ

…少し匂うぞ
ぢゅるっ
ちゅぷっ
んっ
びくっ
あっ
こ…こんなことをするなんてっ
想像もしてなかった
ですからぁ…っ
びくっ

その割には
エロい下着だったな
そ…それは…
本当は期待して
いたんじゃないのか?
いつかこうなることを

まぁいい
挿れるぞ
っ…!?
ま…待って…!
どきっ
男の人の…っ
そんなに
大きいんですか!?
入りませんっ!
アイリにだって
挿ったんだぞ
心配するな
赤ちゃんはもっと
大きいからな
あ…赤ちゃん…!?
なかに…ださないですよね…っ!?
ぷるっ
抜くとでも思うか?
い…
そ…そんな…っ
入って…くる…っ
ずぶ…
ぐ
うぅうっっ…
ぷるんっ
たぷっ

ほら挿ったたろ
処女卒業おめでとう
よかったな
礼くらい
言ったらどうだ？
ううっ…っ
あ…ありがとう
ございます…っ
んっ…
ふるっ
わ…私の中…っ
気持ちいいですか…っ？
ふるっ
…まぁまぁだな
ラティやミティよりは
下だな
どくっ
どくっ
そんな…っ
ひどい…！
ほら動くぞ
まぁまぁの女
やっ…
まって…っ
うう…酷い…っ
私は「神」と呼ばれる
立場の存在なのに…っ
んっ
あっ
んっ
この人は…私より
上なんですね…
私はこの人の下――
たぷっ
たぷっ

――イシュタルは
世界の最果てで
生まれた

最果てに住む民は
スキルを与える能力と
未来を見る予知の
力を持っていた

そしてその力は
「弱者を守り導く」という
信条の元に使用された
人々は彼女たちを
「神」と呼び崇めた

ある時 ひとりの「神」が
邪神の予知を見た
人も獣も草も木も
すべてが塵と化していく未来を

彼女は世界の終焉を
目の当たりにし…
絶望し 狂い 死んだ――

「可能性」がひとつ――
またひとつ――
作っては消えるの繰り返し
消えた「可能性」の数だけ
墓石が増えた

それらの失敗は
すべて記録され
その書類もまた
無数となった

そして1番若いイシュタルを残し
最後のひとりが死んだ

数え切れぬ墓石――
その数だけの重責が
イシュタルにかかった

「神」と呼ばれた民の
「世界と弱者を守る」
その責任と義務という
重圧が――

もう失敗はできない
邪神を阻止できる者なら
もはや誰でもいい――
孤独と焦燥感と重圧により
イシュタルはバラ撒いた
禁じられた「スキル」を

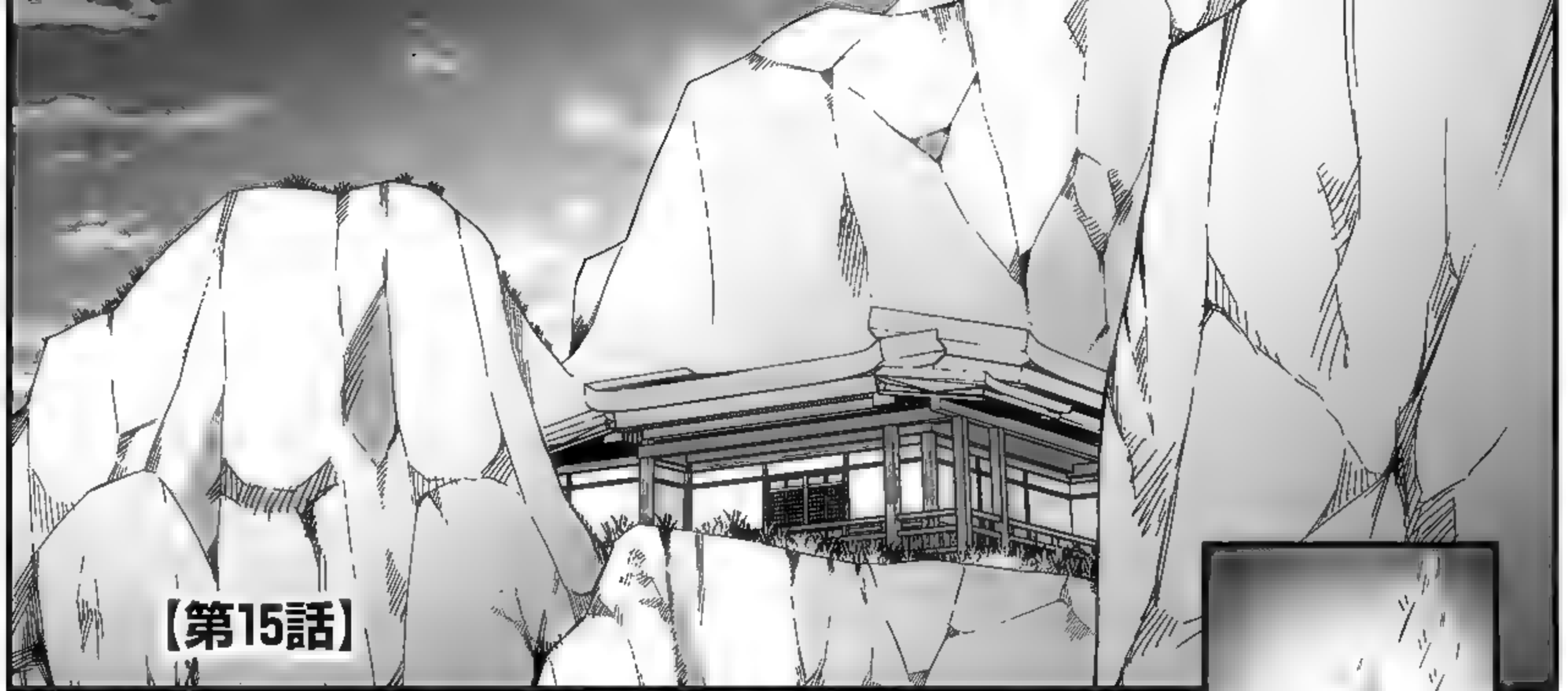
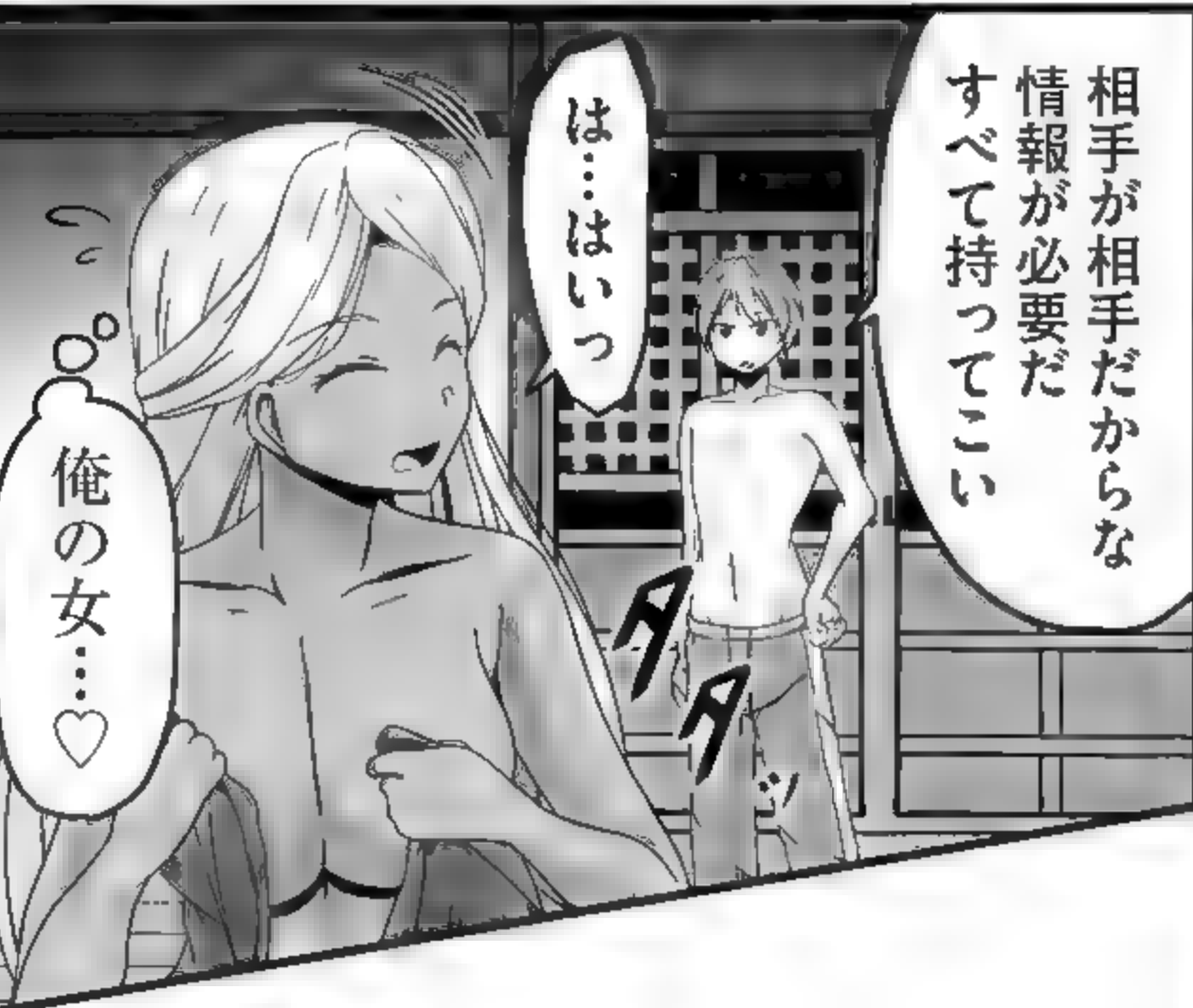
それが例え
「正義の味方」などと
呼ばれる者でなくても
かまわない

強き魂を持つ者なら
強き欲を持つ者なら

人の手にあまる危険な
「スキル」だろうが関係ない
使いこなせる者ならば
きっと邪神を止められる
そう信じて――

――そして出会えた
馬鹿げた「スキル」を使いこなし
自分の力をも上回る人と
今度はおまえがまたがって動け
は…はい…わかりました
のしっ…
処女を捧げさせ
快楽を得るために
自ら腰を振れと
命令する人と
あっ
人々から尊敬され
「神」と呼ばれた存在を
その辺の女と同じように
扱ってくる人と
き…きもちいい…っ
でしょうか…っ
あぁ
ずぷっ
ずぷっ
んっ
んぅ
ん
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
この人は私より強い
だからもう頼りたい
甘えたい解放されたい
貴方にも共に背負ってほしい

「世界」を守る
重責を――
あっ♡
あっ
ずちゅっ
ずちゅっ
そろそろ出すぞ
子宮を開いて飲め
は…はひぃ…♡
ふるっ♡
そうしてくれるなら――
んあぁあぁぁ♡
ドドプッ
ドプッ
びくっ♡
びくっ♡
びくんっ♡
私は喜んで貴方の
「支配下」になります――

ん♡
んっ♡
——そうだ
ヤり終わったら
きれいに舐めろ
ふぁい…♡
よし…いい子だ
もういいぞ
——この世界には
大きく分けて
2種類の者が存在する
股を開け
もう1回するぞ
はい…♡
「支配」したい者と
「支配下」に入り
「保護」を求める者
どうぞ…♡
何度でもお使いください♡
もうここは…貴方の物です♡
はー♡
「世界」を守りたい彼女は
「保護」されたい者だった
またそれが彼女が
最後まで残る原因でもあった——

【第15話】

ジジ…

…もう
ご満足
いただけたの
でしょうか

あぁ

結構な量があるな…

…この数だけ犠牲になった巫女たちがいたということです

安心しろ
もっと女を抱くまで
もう死ぬ気はないんだ

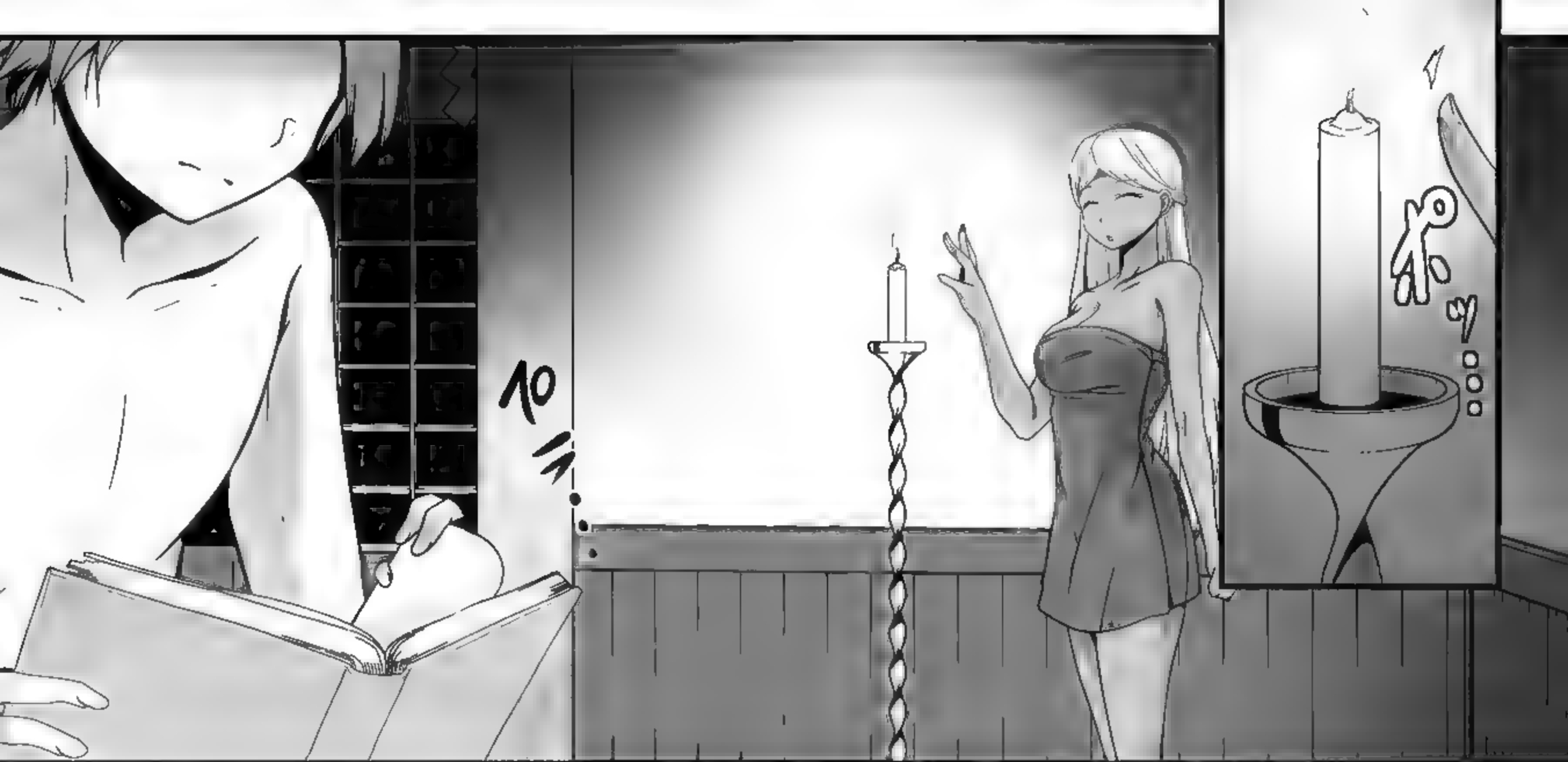
たかが文字の羅列に
誰がビビるか

で…ですが

それより飯とか
飲み物を用意してくれ
読むのに時間が
かかりそうだからな

わ…わかりましたっ

ポッ…

パラ…

◆予知
・アレイシア王国の辺境地ダンジョンで10万のゴブリンが発生
対処1のシミュレーション開始

◆対処1
・近くの冒険者パーティに『剛力無双』のスキルを与え
ゴブリンが少ないうちに撲滅

◆結果
・失敗
ゴブリンの討伐には成功するが
冒険者たちが暴君と化した
対処2のシミュレーションをする

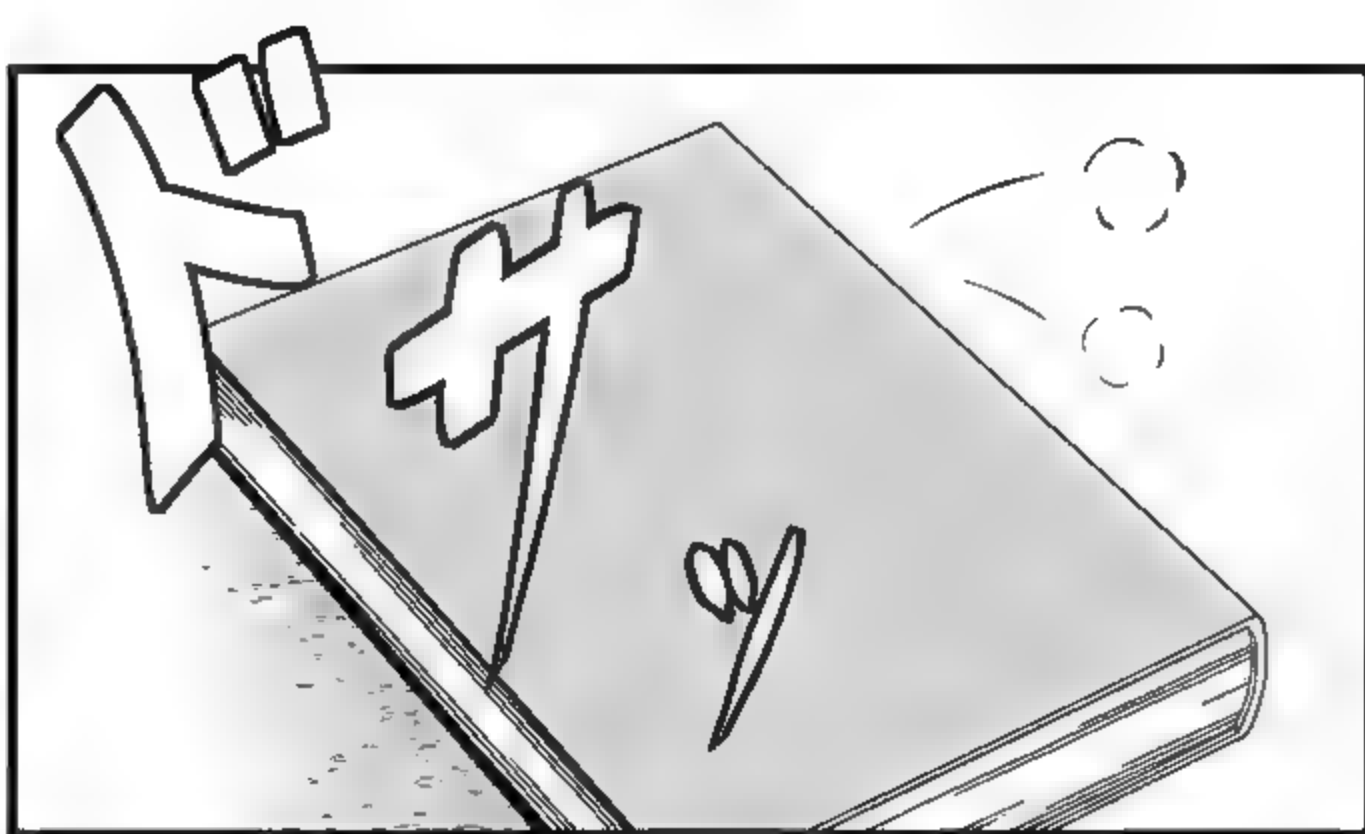
◆対処2
・近くの冒険者パーティに
『危険察知』のスキルを与え
ゴブリンの危険性を周知させる。

◆結果
・成功
危機は去り、冒険者たちも
地道に活動を続けた
現実世界でも
『危機察知』を与えることを推奨

問題が起きては対処――
結果の成否によって
方法を模索し変えては
再度シミュレーションする

こいつらが「神」と
呼ばれるだけのことはある
イカサマスキルを
人間に与えて対処した記述が
随所に記されている

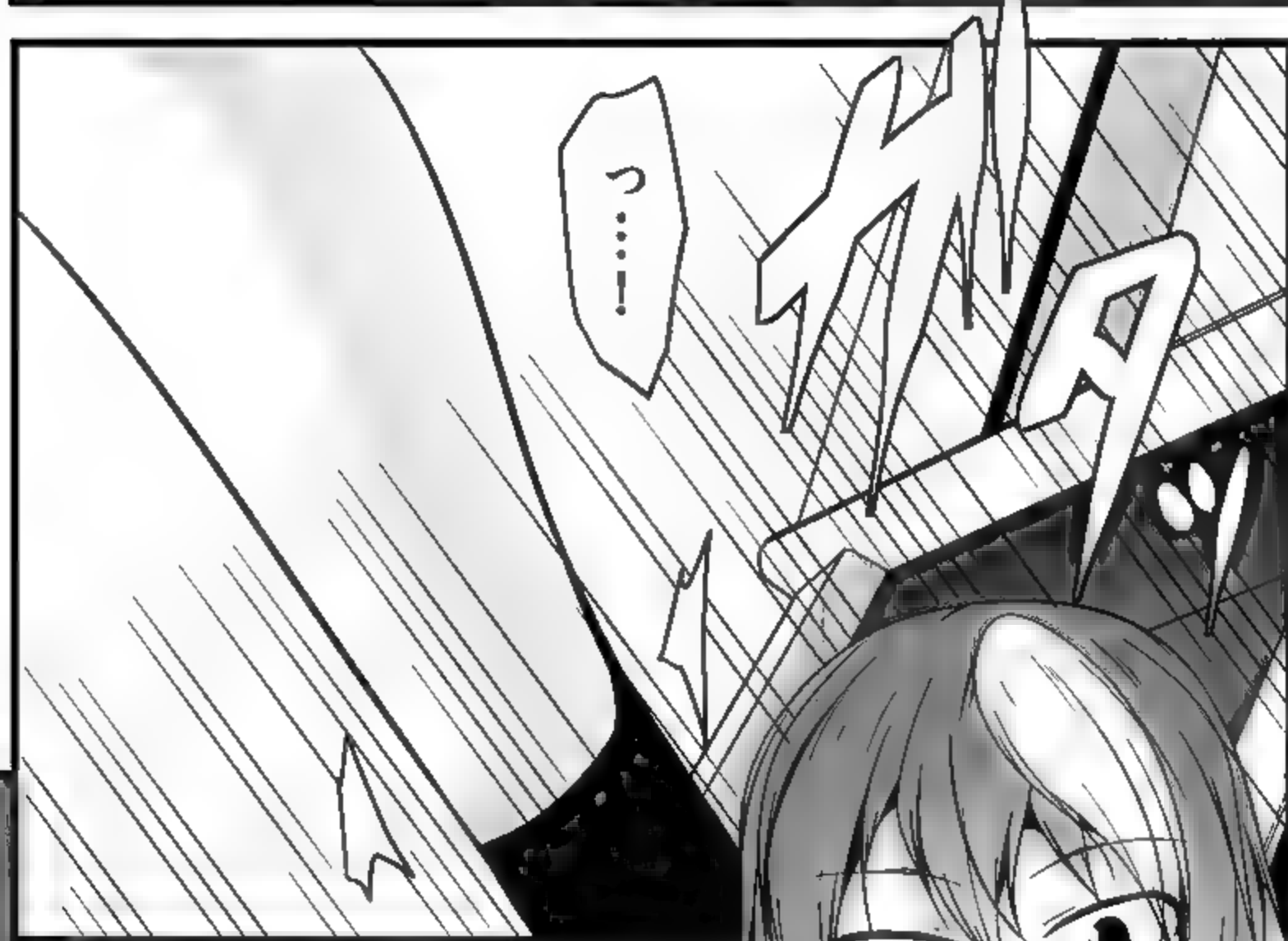
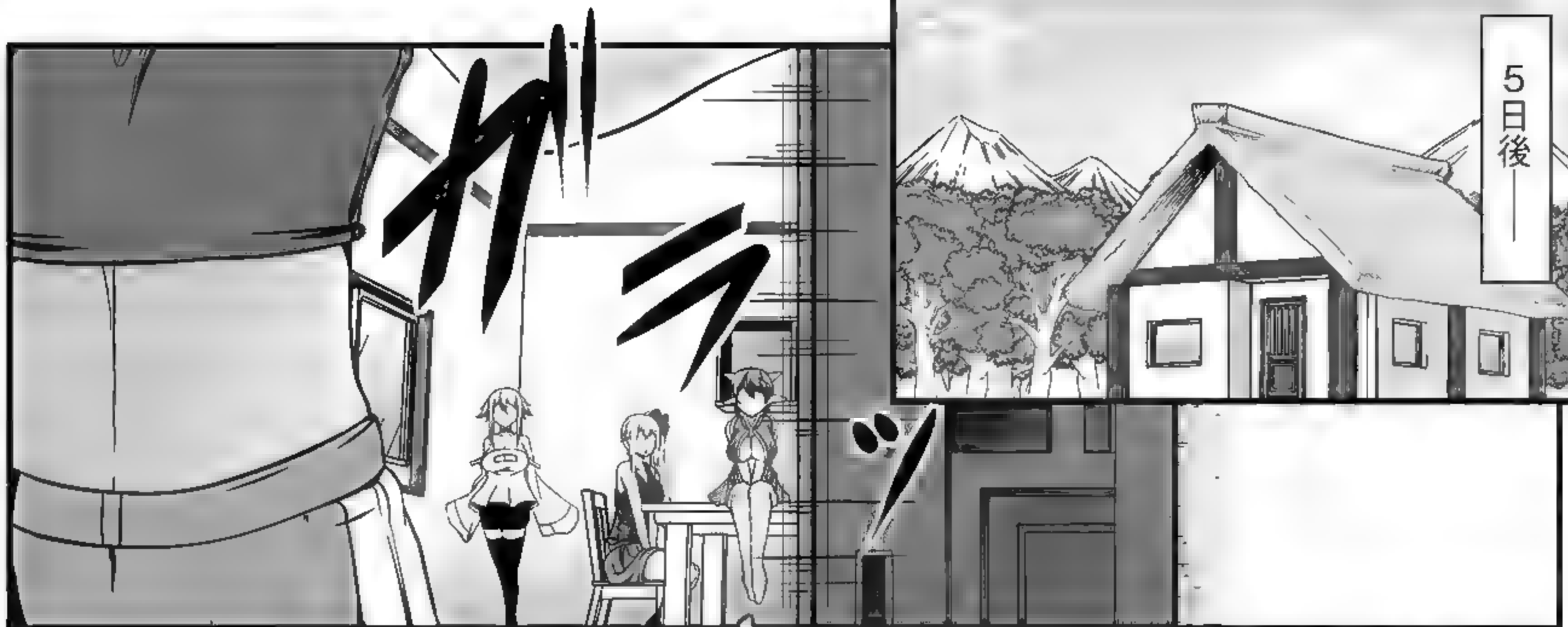
ひとつ減り——またひとつ消え
読み進めるたびに
段々とよき未来への道が
狭く細く暗くなる

まるで誰かが
光を喰い荒らすように

しかし「邪神」は直接的にすべてを破壊する――というわけでもない…と読むこともできる内容だったが

この大量の本は全部同じ結末か…うんざりするな

「存在」自体がすべてを悪い方向へと導く――そう読み取ることもできる「人」も「出来事」もすべて…

1冊読んだだけでは解らないか――だけどこの1冊だけでも気になる記述は数多くあった
ここにある本はすべて確認しよう
敵の情報は正確にしたい――

俺と…俺の女の未来のためにも――!

5日後──
ガラ
ッ
あにさま…っ！
ただいま
っ…！
ガタ
ッ
こんなに遅くなるなんて
心配したんだぞ…っ！
すまん
思ったより読破に
時間がかかってな
5日も…
いなかった…のですっ

…ふたりともおまえを心配して飯も睡眠もロクにとれてなかったんだぞ
連絡くらいこまめにしろっ
可哀想だろふたりが…っ！
おヌシもそうだったではないか不安そうにしとったろ？
ボクは別に…っ!!ちょっと寝れない日とか食べれない日があったってだけだ！コイツとは関係ないっ！
プイッ
ニヨニヨ
そうかの？
それにしては落ち着きなく夜中空を飛びまわったり部屋をうろうろとしておったようじゃが？
なでっ
カァァ…ッ
あぁ悪い悪い不安にさせてたか？
よしよし
撫でるな…っ!!おまえに撫でられてもうれしくなんかないぞっ!!
その割には手を払ったりせんのう…♪

エルフや人魚オーガに獣人

存在自体が特殊なやつら…

その中に４人――邪神を復活させる「魔族」と呼ばれるやつらがいる

…全員「女」だ

つまりヤれるってことだ!!
やる気溢れる情報だろ!?

アホかっ!!
おまえだけだそんなのっ!!
もっと大事なこと話せよっ!

まーヌシ様
らしいがのぅ

くわっ!

…逆に言えば
そいつら4人以外は
味方にできる
可能性があるんだ

「敵」はそやつら
だけ…と
見るならの

味方にすると言っても
強い種族ばかりでは
ないぞ

獣人なんて
ボクのブレスで
全滅するくらい弱いな

俺は世界中の勇者を集めひとつの軍団を作り――
邪神を討伐する!!
…資料を読む限りそれしか方法はなさそうじゃのぅ
わらわたちより明らかに強い者どもがあっけなく負けとるわけじゃしな
そううまくいくか？統率がとれるとも思えないし
そもそも人間と極端に仲の悪い種族だって多いんだぞ一緒に戦ってくれるかどうか…

いいえ…

彼はその方が
レベルアップする
はずです

それなら…あにさまっ
私として…ほしいですっ

ギュッ♡

5日ぶりの…
ミティです…よ?

…それで強くなるなら
ボクも抱かれていい…ぞ

竜を抱いて
強くなる逸話は
たくさんあるからな

精霊と交わる！
これに勝る
パワーアップはなし
じゃぞ！

さぁヌシ様！
わらわを
選ぶのじゃ！

…安心しろ
5日ぶりだからな
元々全員とする予定だ
くるっ
だけど

ラティ
う…うむっ？

抱くぞ
寝室に来い
わ…私で
いいのかっ？

今日はひとつの始まりに
なる日だと思う
そんな時は初心に戻りたい
あ…
ラティがいいんだ
俺の「初めて」の
相手だからな
キュン
うん…っ♡

むぅ…ラティとは童貞×処女じゃったと聞いておるのぅ…
…それには勝てないか
お美しい…形なのです…っ初めてどうし…！
あねさま…おしあわせに…っ
ふん…もう今日はドアは開かんだろうな
パタン
開かずのドアと化しおったわ
終わるまでわらわたちは飯でも食いに行くかのぅ
そうだね
あぁそうだイシュタル俺が抱いたことのある女を全員連れてこい
そいつらも抱くからラティの後に
あ…はいっ！
ドア開くの早いな!?

10時間経過――
あの～みんな待ちくたびれてますが…
ラティも限界だし全員入れていいぞ

お久しぶりですっ
あのこれっウチの秘薬で
精力超増強剤です！
お使いくださいっ

ちゅっ♡
れる
ちゅぅ♡
あっ…イクっ♡
あんっ♡
ズブッ
あっ♡
ズポッ
あっ♡
あっ♡

はー…♡
はー…♡
は…んっ…♡
はぁっ…♡

…近日中に
ココが狙われるな

ええ……

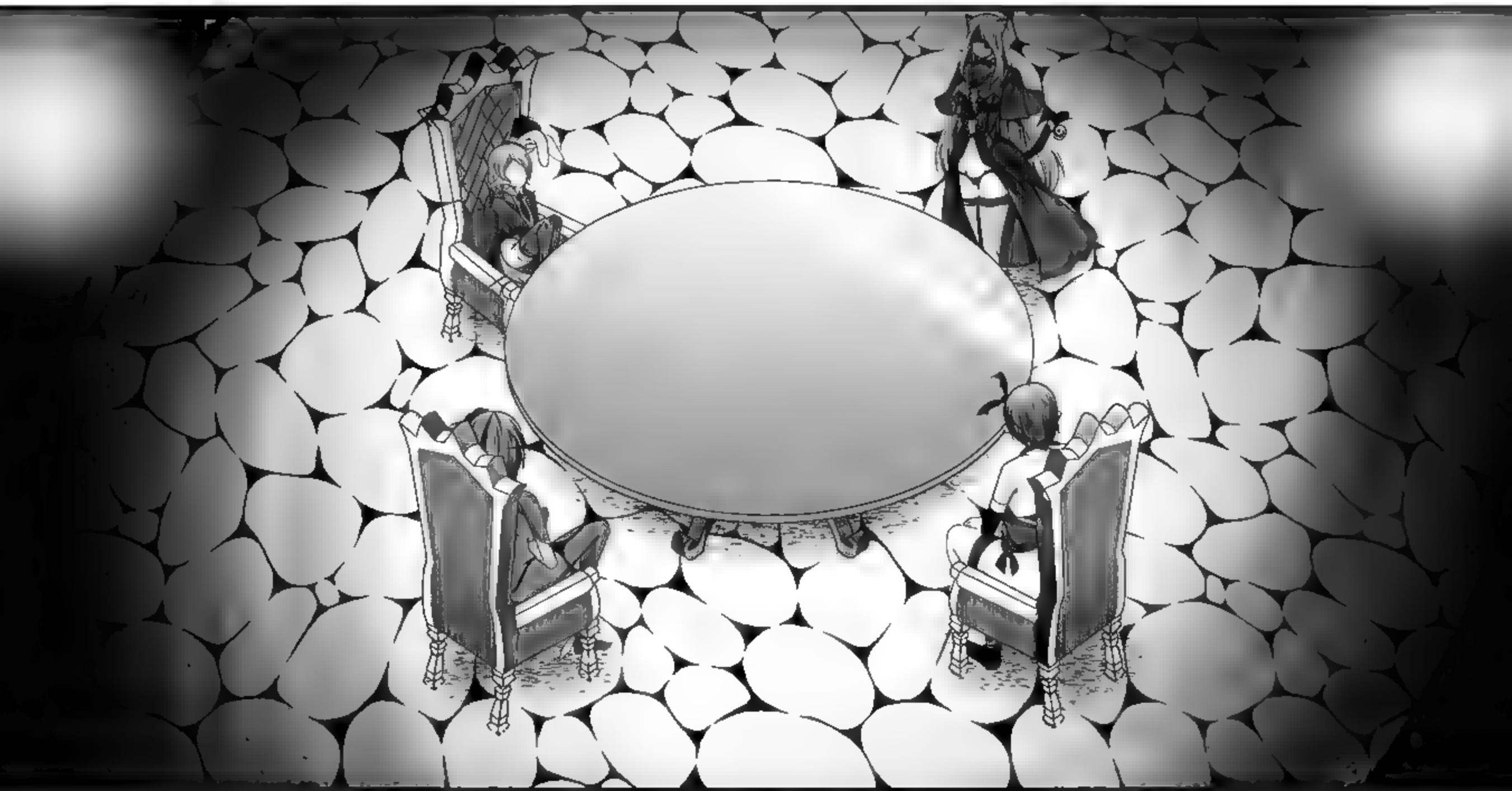
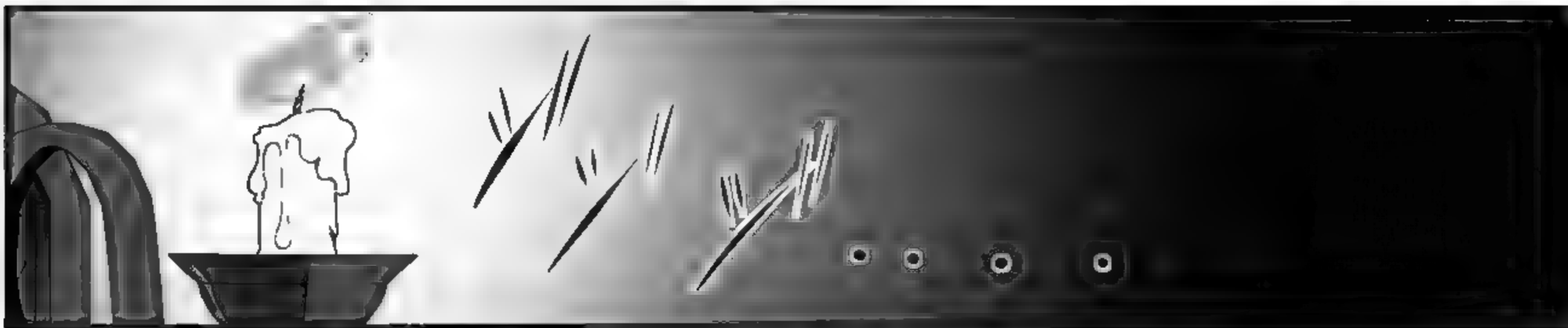
砂漠に広がるオアシス…
そこには「世界樹」と
呼ばれる巨大な木が
存在します

ここは「エルフ」たちの
住処になっています

…そこを４人の魔族のうち
ひとりが襲撃してくる――
予知ではそうなっているな

…はい

どんなやつらだろうな
４人の魔族は――

無効化の勇者が負けたそうよ
それってー「予知」が外れたってことぉ？
外れる予知に意味なんてないだろ！どうなってんだ!?

…不明——

求。再検索——
無効化勇者敗北パターン
シミュレーション開始——

んキゅううう!!

予知には死のリスクがある
見たモノを現実に感じるからな
受ける「恐怖」だって半端じゃない
しかしそれを快楽で緩和させる…

万が一快楽を越える恐怖で
狂い死にしそうになったら
意識を失わせる絶頂を
与えて回避する——

えげつなー
もう頭壊れてるだろ
その巫女さぁ

「サキュバス・ロード」
リリース＝キュラックス

「尊厳破壊の悪魔」
リッキー＝トイス

「？？？？？？」
シーナ＝マシーナリー

クカカ…ッ
そらイケっイケっ♪
「ダークドライアド」
リーフ＝ドライアー
キキキ…っ
「支配」の勇者も
コイツと同じように
調教してやるよぉ!!
予知
10日後
完了
敗北する
to be continued

～あとがき～

本編で水着ないので
着せました

ほぼヒモじゃん。

２巻お買い上げありがとうございます
この巻で１部が終わり、次巻から２部へ・・・
という感じになるようですね

１巻から２巻まで出るの速かったなーと
思っていたんですが、一応９カ月くらいは
開いているんですね
ただ単行本作業を１月くらいから
やっていたので４カ月程度しか
たってないなって気持ちでした

本編の話ですが
勇者のくせに生意気なメスガキを倒して
無事に死は回避できましたが
今度は世界の死が待っていました
どっちも同じ事ですね
次からは４魔族との戦いにむけて
準備や強化やセックスに励むのでしょう
個人的にリッキーやシーナが好みなので
いい感じに・・・
いい感じにやれたらいいですね

それではまた次巻
ミティのヘッドシザーズホイップから
お会いしましょう　それでは

あとがき

原作のkt60です。

みな様のおかげで、一巻の売れ行きは好調。
世界観も、広げていく予定です。
とりあえず三巻は

・いつものメンバーと乱交
・勝気なケモミミ娘を力で支配
・セックスを知らないエルフの少女に
　快楽を教えてあげる
・ドエスなドリアードを徹底調教

などを予定しています。
この巻が面白かった方には、楽しめる内容です。
ドラ子の名づけイベントも、入ってくる予定です
そのイベントは、幸せかつほのぼのになるかと！

kt60 (ケーティーロクジュウ)

松本ミトヒ。
MATSUMOTO MITOHI
楽兎学園
らくうがくえん
催眠部
さいみんぶ
ラクウシリーズのコミックス
全国書店にて
大好評発売中
品切れの際は書店でご注文いただくか
弊社営業部まで直接お問い合わせください。
ぶんか社営業部：03-3222-5115
RK COMICS
comic RaKUU
ぶんか社

RK COMICS　COMIC RAKUU

チートスキル『支配』を使って異世界ハーレム！2

作画 零覇（れいは） 原作 kt60（ケーティーロクジュウ）

発行日　2023年5月20日　初版第一刷発行
発行人　小澤誠昭
発行所　株式会社ぶんか社
〒102-8405
東京都千代田区一番町29-6
TEL 03-3222-6516（編集部）
TEL 03-3222-5115（出版営業部）
印刷所　大日本印刷株式会社

この作品はフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

ISBN978-4-8211-5608-5

ぶんか社 webcyberia.com